

青少年・若者の意識行動に関する調査 結果報告書

令和 6 年 6 月
京都市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 調査結果の見方	1
II. 調査結果	2
1 あなた自身のことについて	2
2 悩みごとについて	7
3 居場所について	12
4 スマートフォンなどの利用について	14
5 情報収集について	18
6 健康について	19
7 地域活動への参加について	32
8 小さな子どもとふれあう機会について	39
9 青少年・若者を対象とした施設について	40
10 子どもや若者の意見反映について	44
11 自由記述	48
III. 参考資料(調査票)	49

I. 調査の概要

1 調査の目的

市内在住の13歳～30歳までの方を対象に、普段の生活の状況や将来に対する考えなどをお聞かせいただき、今後の京都市の青少年・若者に対する取組の充実に向けた基礎資料とすることを目的に調査しました。

2 調査設計

対象	京都市に在住する13～30歳の市民
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査実施時期	令和5年12月5日～12月25日
調査方法	郵送配布・郵送回収（WEB回答併用）

3 回収結果

調査対象者（配布数）	有効回答数	有効回答率
3,100件	491件	15.8%

4 調査結果の見方

- ①図中の「n」は、設問に対する回答者数のことを示します。
- ②回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示しました。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがあります。
- ③図表中に「MA%」の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問であり、回答比率（%）の計は100.0%を超えます。
- ④図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。
- ⑤図表のn値が少ない場合、見方には注意が必要です。

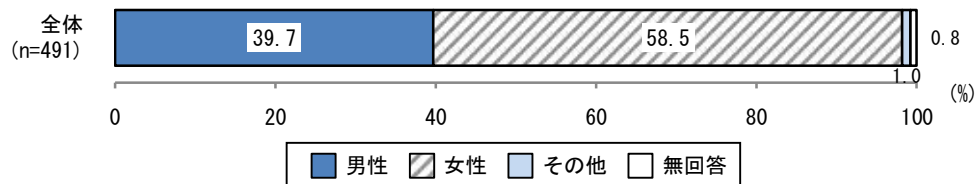
Ⅱ. 調査結果

1 あなた自身のことについて

1. 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

【図1-1 性別】

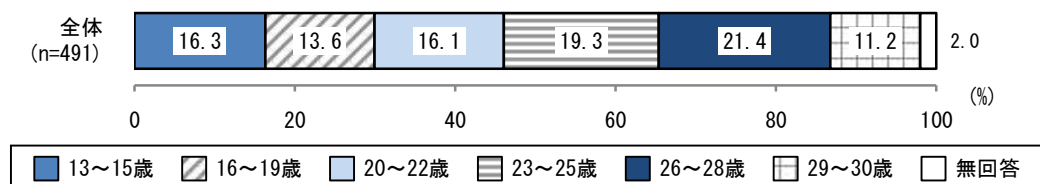


性別は、「男性」が39.7%、「女性」が58.5%となっています。(図1-1)

2. 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。

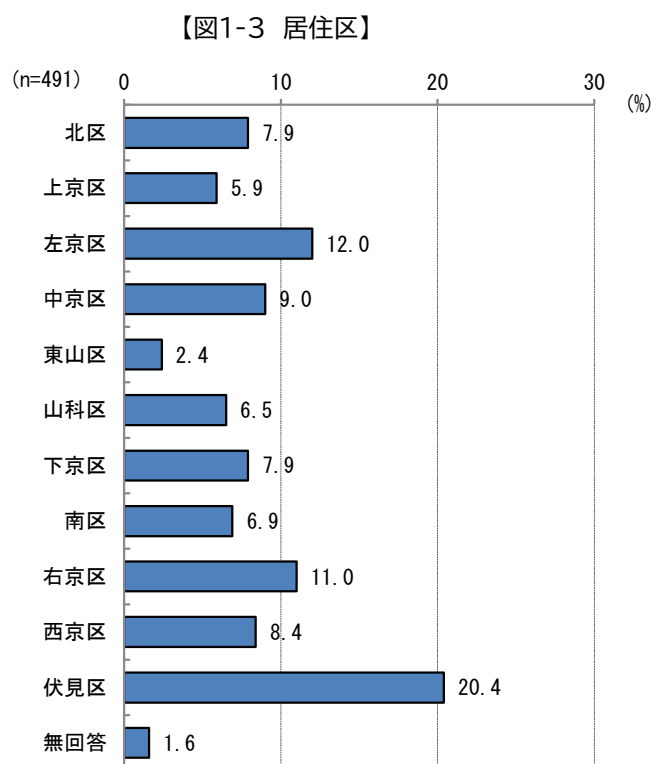
【図1-2 年齢】



年齢は、「26～28 歳」が21.4%と最も多く、次いで「23～25 歳」が19.3%、「13～15 歳」が16.3%、「20～22 歳」が16.1%、「16～19 歳」が13.6%となっています。(図1-2)

3. 居住区

問3 お住まいの区はどこですか。

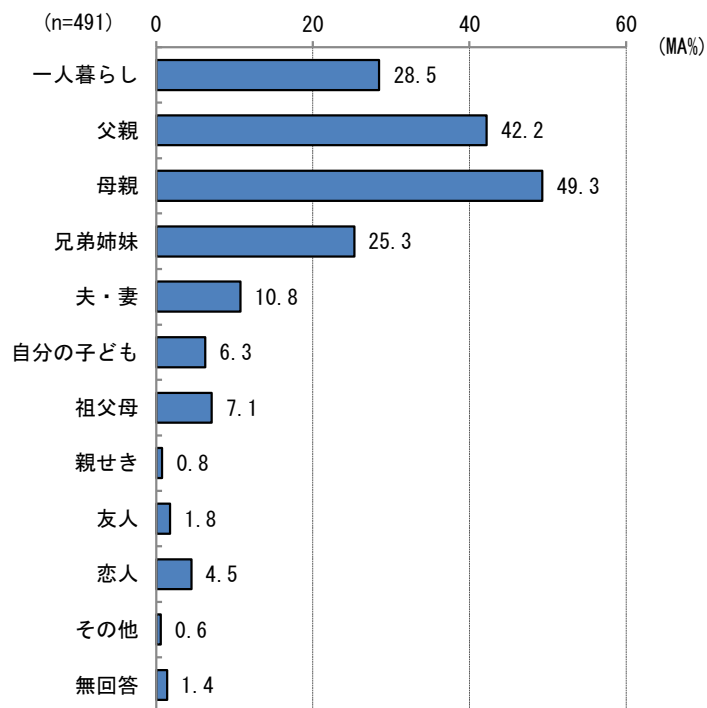


「伏見区」が20.4%と最も多く、次いで「左京区」が12.0%、「右京区」が11.0%、「中京区」が9.0%、「西京区」が8.4%となっています。(図1-3)

4. 同居者

問4 あなたはだれと一緒に暮らしていますか。(複数回答可)

【図1-4 同居者】



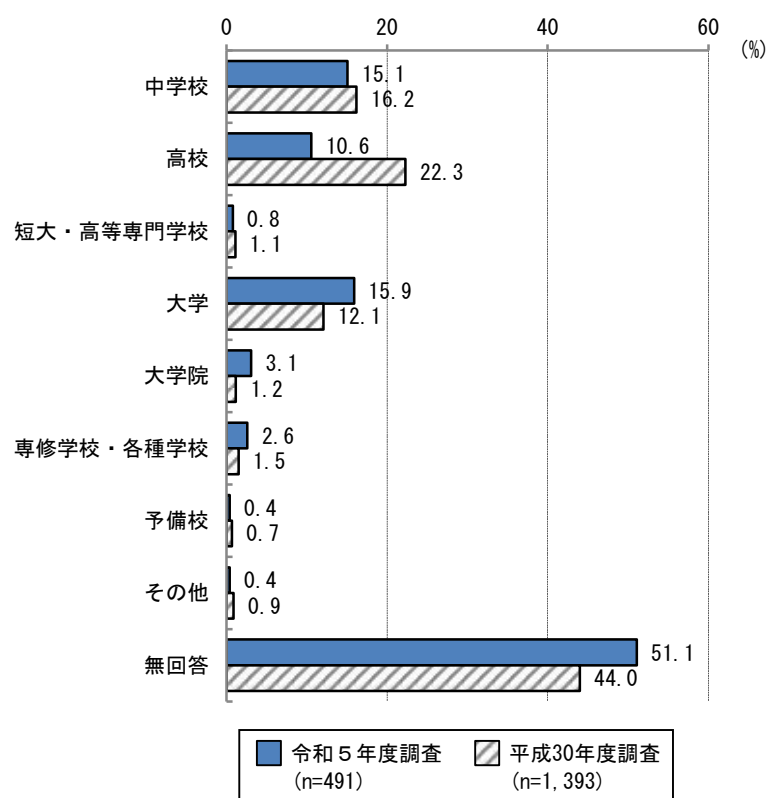
同居者は、「母親」が49.3%と最も多く、次いで「父親」が42.2%、「一人暮らし」が28.5%、「兄弟姉妹」が25.3%、「夫・妻」が10.8%となっています。(図1-4)

5. 通学先

《学生の方にうかがいます。それ以外の方は問6へお進みください。》

問5(1) どの学校に通っていますか。(○は1つ)

【図1-5 通学先】

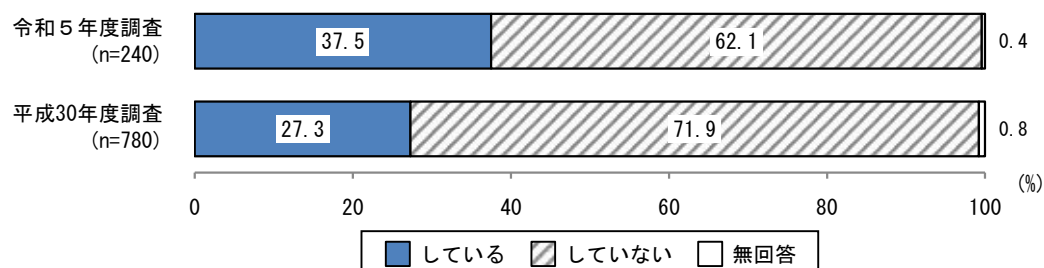


通学先は、「大学」が15.9%と最も多く、次いで「中学校」が15.1%、「高校」が10.6%、「大学院」が3.1%、「専修学校・各種学校」が2.6%となっています。(図1-5)

6. アルバイトやパートの有無

問5(2) アルバイトやパートをしていますか。(○は1つ)

【図1-6 アルバイトやパートの有無(学生のみ)】



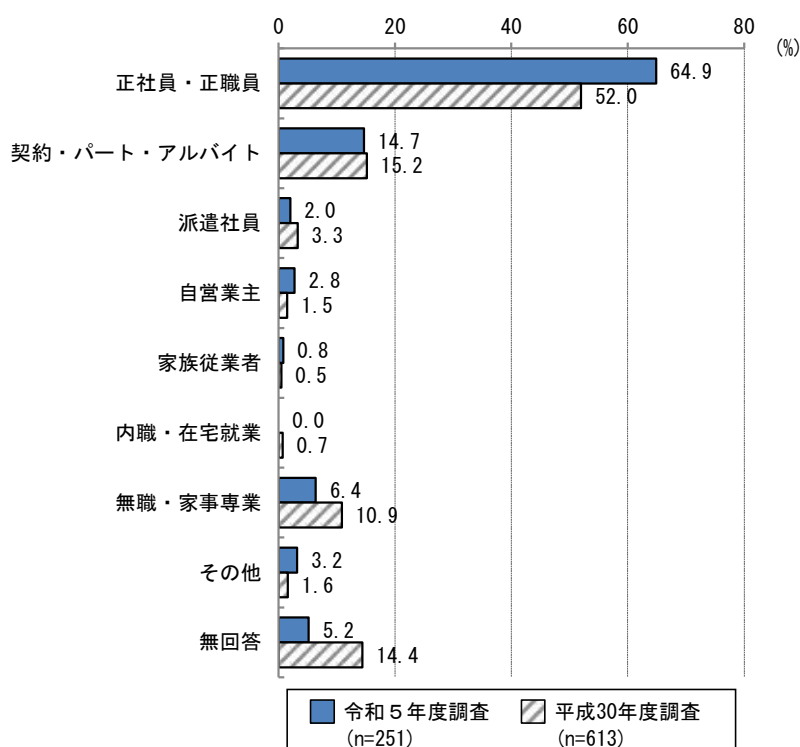
アルバイトやパートの有無（学生のみ）は、「している」が37.5%、「していない」が62.1%となっています。（図1-6）

7. 職業等

《学生以外の方にうかがいます。》

問6 職業等について教えてください。(○は1つ)

【図1-7 職業等】



職業等（学生以外）は、「正社員・正職員」が64.9%と最も多く、次いで「契約・パート・アルバイト」が14.7%、「無職・家事専業」が6.4%となっています。（図1-7）

2 悩みごとについて

1. 悩みごとや心配ごとの有無

問 7 (1) 悩みごとや心配ごととはありますか。(○は 1 つ)

【図2-1 悩みごとや心配ごとの有無】



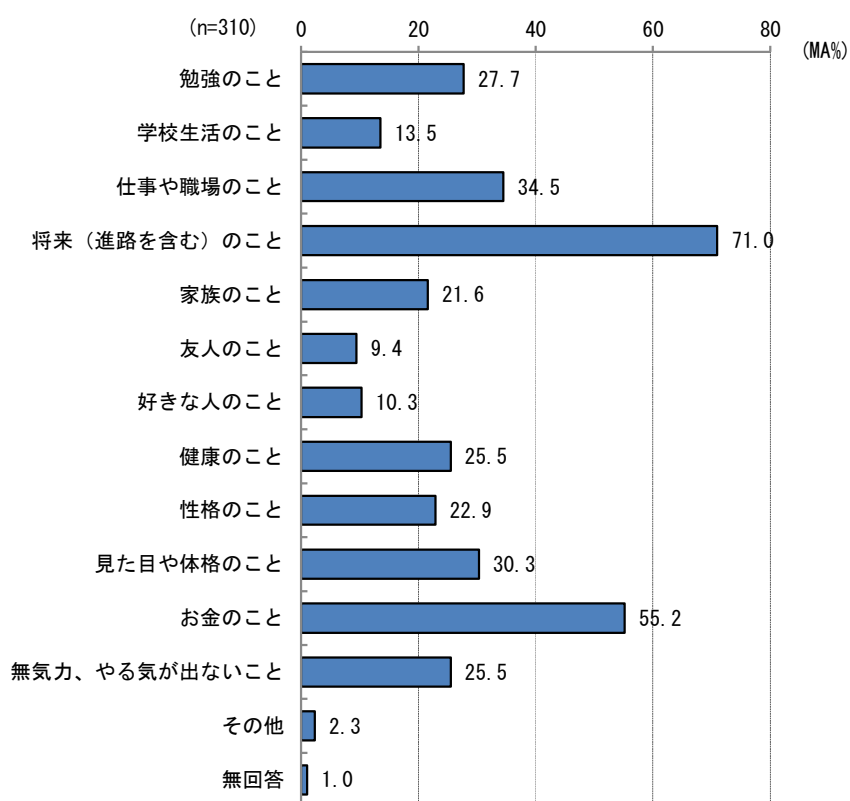
悩みごとや心配ごとの有無は、「ある」が 63.1%、「ない」が 34.2%となっています。(図 2-1)

2. 抱えている悩みや心配ごと

《問 7 (1) で「1」と答えた方にうかがいます。》

問 7 (2) あなたはどのような悩みや心配ごとがありますか。(複数回答可)

【図2-2 抱えている悩みや心配ごと】



抱えている悩みや心配ごとは、「将来(進路を含む)のこと」が71.0%と最も多く、次いで「お金のこと」が55.2%、「仕事や職場のこと」が34.5%、「見た目や体格のこと」が30.3%となっています。(図2-2)

□年齢別

【表2-2-1 年齢別 抱えている悩みや心配ごと】

	n	勉強のこと	学校生活のこと	仕事や職場のこと	将来（進路を含む）のこと	家族のこと	友人のこと	好きな人のこと	健康のこと	性格のこと	見た目や体格のこと	お金のこと	出ないこと 無気力、やる気が	その他	悩みや心配ごとはない	(%) 無回答
13～15歳	80	41.3	20.0	0.0	37.5	8.8	11.3	12.5	2.5	16.3	18.8	11.3	21.3	2.5	47.5	2.5
16～18歳	52	36.5	23.1	1.9	46.2	15.4	11.5	7.7	3.8	15.4	15.4	15.4	11.5	0.0	46.2	0.0
19～22歳	94	25.5	11.7	20.2	53.2	7.4	6.4	9.6	16.0	14.9	24.5	37.2	22.3	1.1	27.7	2.1
23～26歳	131	6.1	2.3	31.3	45.0	15.3	3.8	5.3	20.6	13.0	16.8	40.5	13.7	1.5	32.8	2.3
27～30歳	124	1.6	0.0	37.1	44.4	18.5	2.4	1.6	25.8	15.3	21.0	50.8	13.7	1.6	28.2	3.2

年齢別にみると、“13～15歳”は「悩みごとや心配ごとはない」が最も多くなっています。
“16～18歳”“19～22歳”“23～26歳”は「将来（進路を含む）のこと」が、“27～30歳”は
「お金のこと」が50.8%と最も多くなっています。「仕事や職場のこと」「お金のこと」「健康のこと」は年齢が上がるほど割合が高くなっています。（表2-2-1）

□相談相手別

【表2-2-2 相談相手別 抱えている悩みや心配ごと】

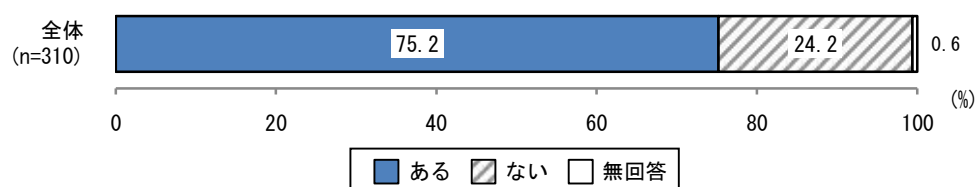
	n	勉強のこと	学校生活のこと	仕事や職場のこと	将来（進路を含む）のこと	家族のこと	友人のこと	好きな人のこと	健康のこと	性格のこと	見た目や体格のこと	お金のこと	出ないこと 無気力、やる気が	その他	悩みや心配ごとはない	(%) 無回答
家族	165	28.5	13.3	35.8	66.7	23.0	7.3	10.9	20.0	20.0	22.4	50.9	18.8	3.6	4.2	0.6
友人・恋人	168	26.2	15.5	40.5	70.8	23.2	9.5	14.9	23.8	21.4	26.2	53.6	18.5	1.8	3.0	0.6
学校の先生、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー	38	63.2	42.1	7.9	81.6	21.1	7.9	18.4	18.4	18.4	28.9	42.1	34.2	2.6	0.0	0.0
習い事の先生	5	40.0	40.0	20.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
部活やサークルなどの先輩や顧問	8	62.5	50.0	25.0	75.0	37.5	25.0	25.0	62.5	50.0	12.5	62.5	50.0	0.0	12.5	0.0
職場の上司、先輩、同僚	48	10.4	4.2	62.5	68.8	33.3	4.2	10.4	33.3	20.8	27.1	64.6	14.6	4.2	0.0	2.1
医師やカウンセラーなどの専門家	18	27.8	33.3	38.9	83.3	33.3	5.6	5.6	44.4	11.1	27.8	38.9	44.4	0.0	0.0	0.0
インターネット(SNS)上の仲間	21	23.8	19.0	47.6	66.7	38.1	9.5	14.3	28.6	28.6	47.6	57.1	19.0	0.0	0.0	4.8
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
誰かに相談したことはない	75	25.3	10.7	24.0	69.3	12.0	13.3	6.7	33.3	26.7	40.0	60.0	37.3	0.0	0.0	0.0

相談相手別にみると、“その他”を除く相談相手で、「将来（進路を含む）のこと」が多くなっています。（表2-2-2）

3. 相談相手の有無

問 7 (3) あなたは誰かに相談したことはありますか。(○は 1 つ)

【図2-3 相談相手の有無】



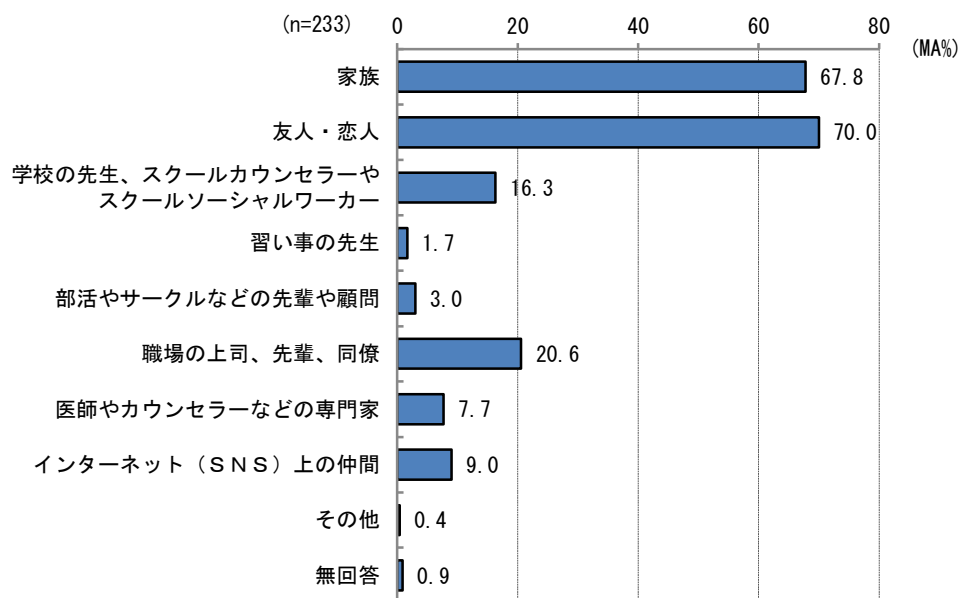
相談相手の有無は、「ある」が 75.2%、「ない」が 24.2%となっています。(図 2-3)

4. 悩みや心配ごとの相談相手

《問 7 (3) で「1」と答えた方にうかがいます。》

問 7 (4) あなたは悩みや心配ごとがある時はだれに相談していますか。(複数回答可)

【図2-4 悩みや心配ごとの相談相手】



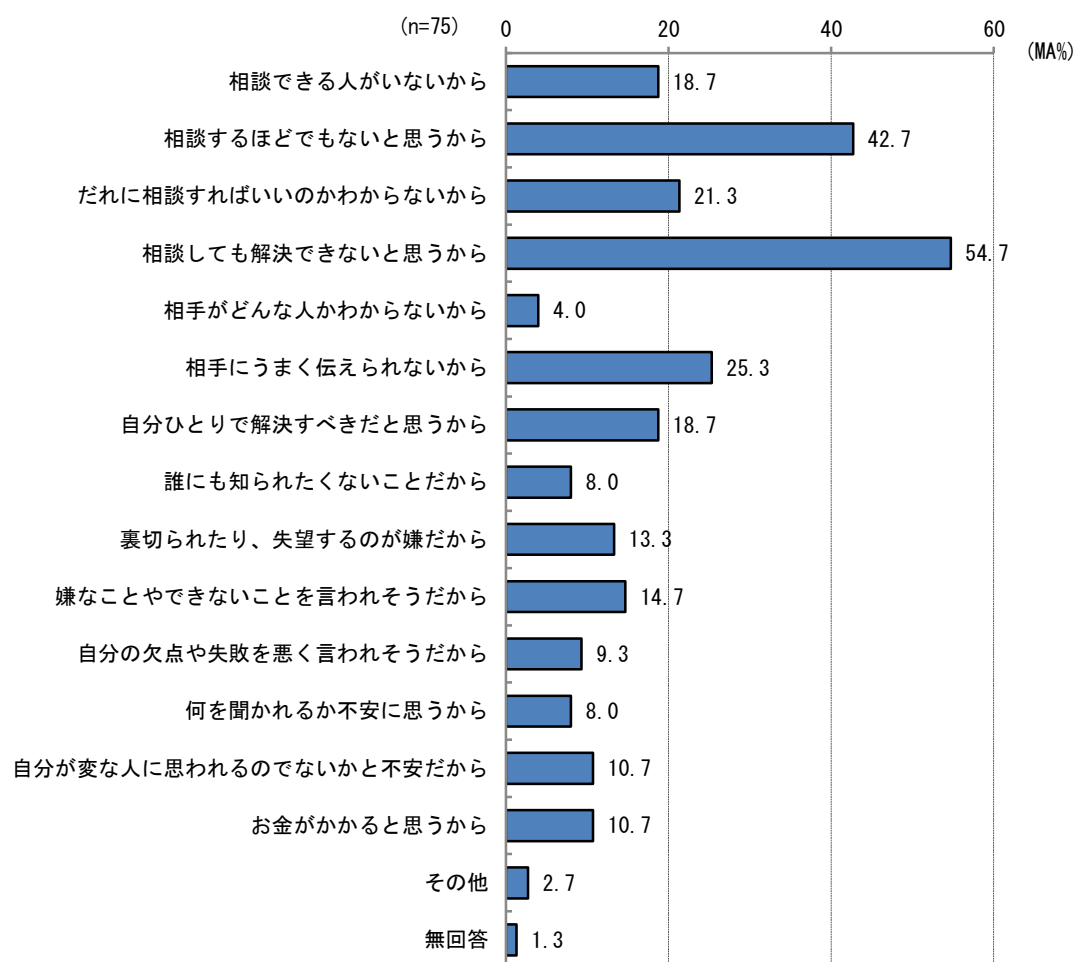
悩みや心配ごとの相談相手は、「友人・恋人」が 70.0%と最も多く、次いで「家族」が 67.8%、「職場の上司、先輩、同僚」が 20.6%、「学校の先生、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」が 16.3%、「インターネット (SNS) 上の仲間」が 9.0%となっています。(図 2-4)

5. 誰にも相談したことがない理由

《問 7 (3) で「2」と答えた方にうかがいます。》

問 7 (5) 相談したことがないのはなぜですか。(複数回答可)

【図2-5 誰にも相談したことがない理由】

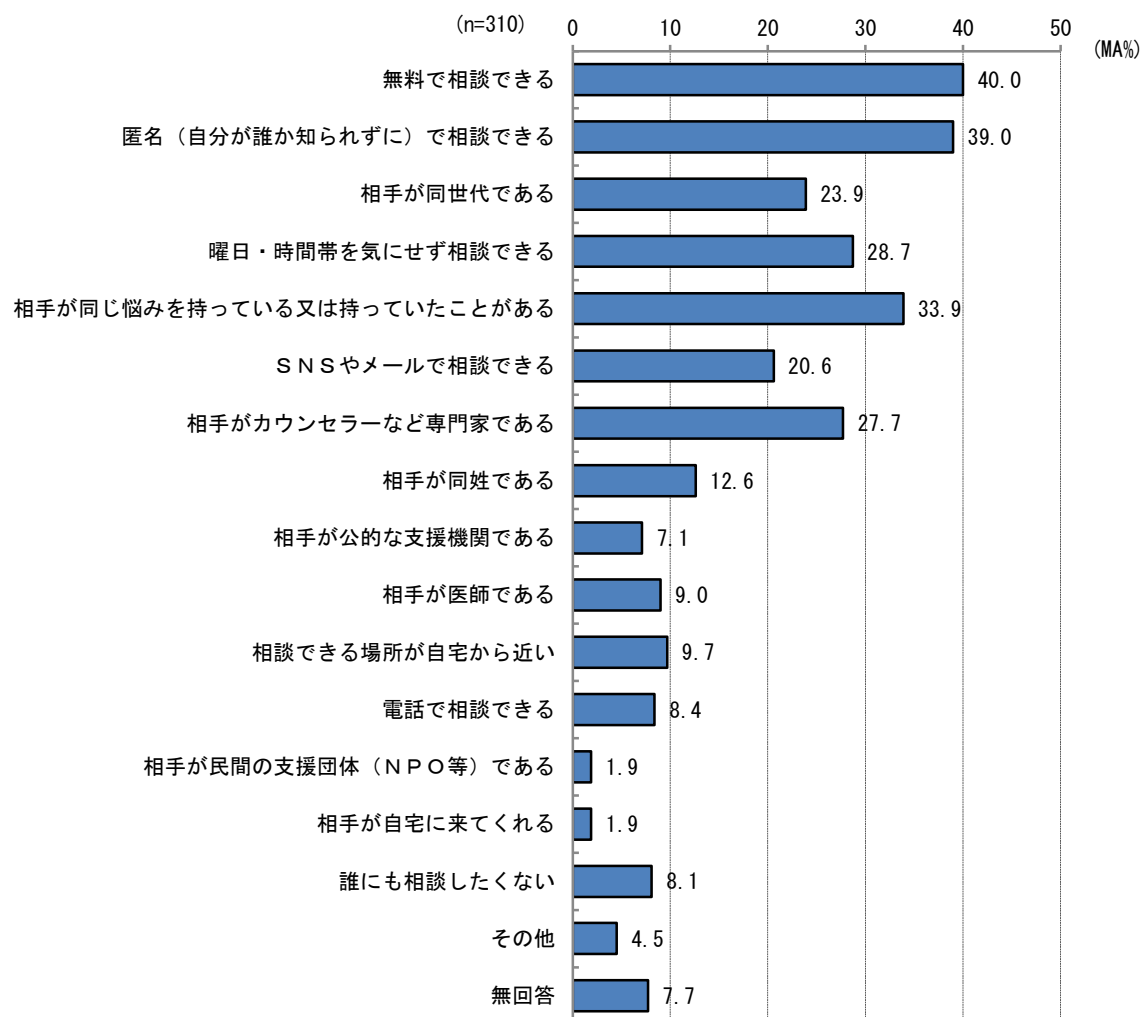


誰にも相談したことがない理由は、「相談しても解決できないと思うから」が 54.7%と最も多く、次いで「相談するほどでもないと思うから」が 42.7%、「相手にうまく伝えられないから」が 25.3%となっています。(図 2-5)

6. 相談したい人や場所

問7(6) どのような人や場所なら相談したいと思いますか。(複数回答可)

【図2-6 相談したい人や場所】



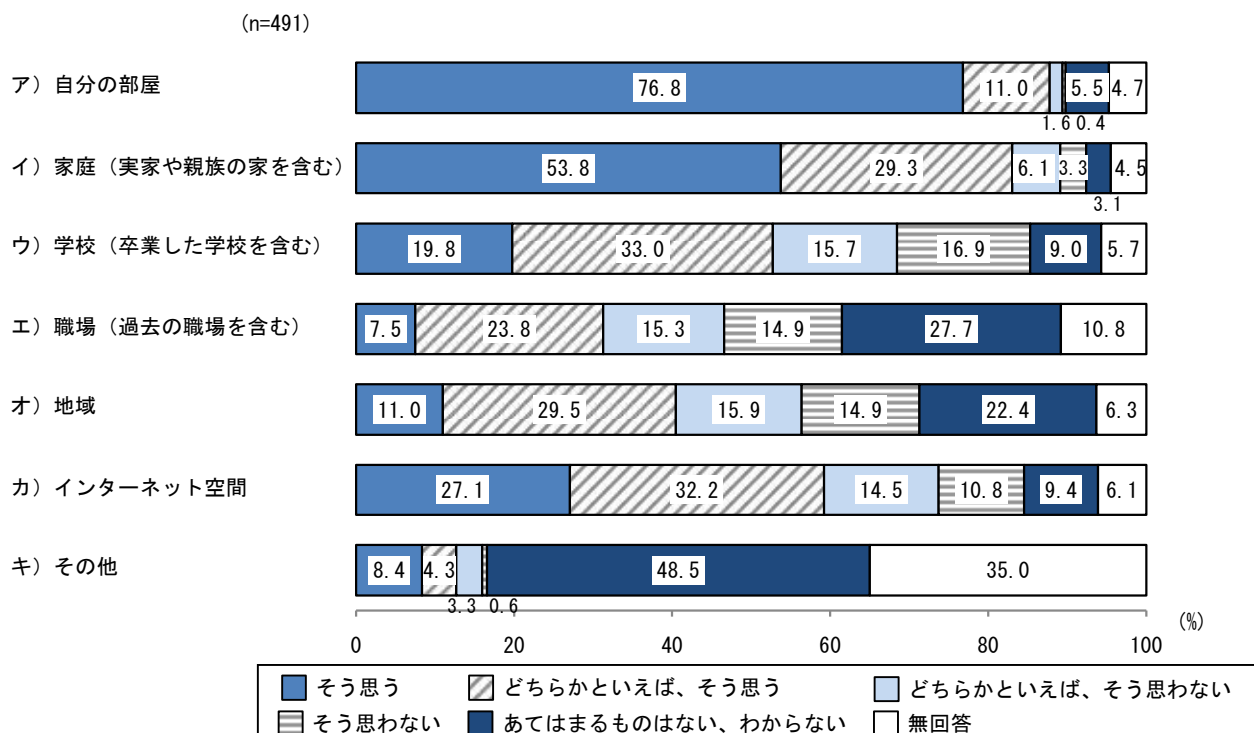
相談したい人や場所は、「無料で相談できる」が40.0%と最も多く、次いで「匿名（自分が誰か知られずに）で相談できる」が39.0%、「相手が同じ悩みを持っている又は持っていたことがある」が33.9%、「曜日・時間帯を気にせず相談できる」が28.7%、「相手がカウンセラーなど専門家である」が27.7%となっています。（図2-6）

3 居場所について

1. 自身の居場所になっているか

問 8 (1) 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（それぞれについて 1 つ）

【図3-1 自身の居場所になっているか】

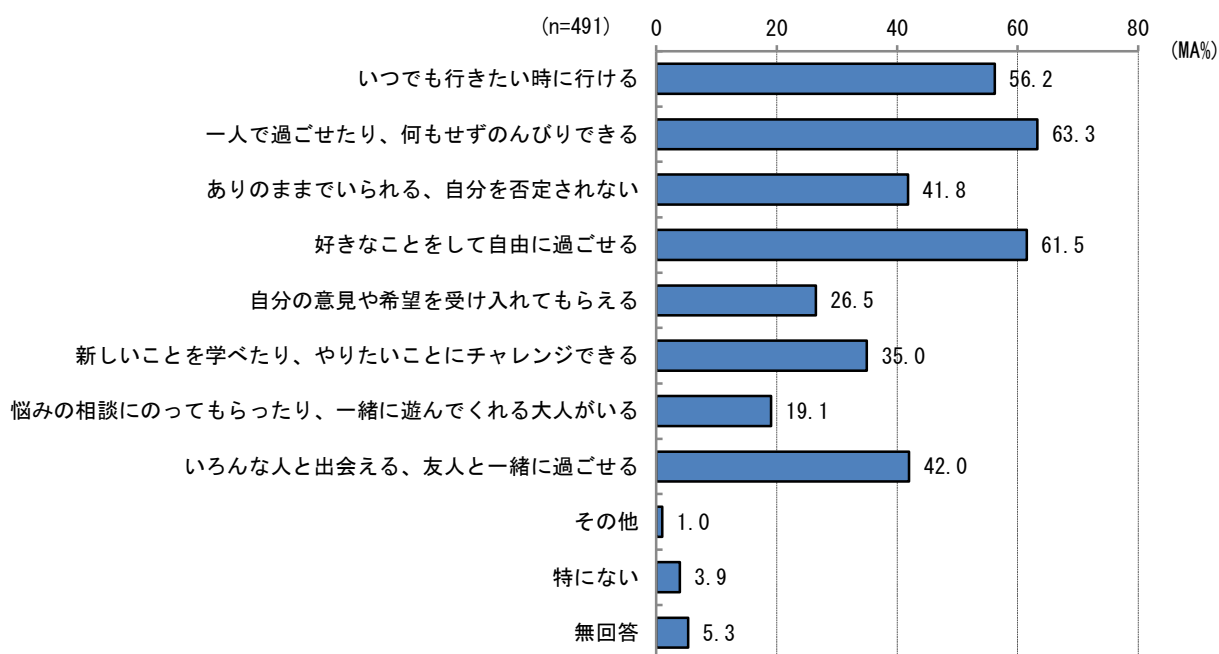


自分の居場所になっているかについて、「そう思う」割合は〔ア〕自分の部屋が87.8%と最も高い割合となっています。次いで〔イ〕家庭（実家や親族の家を含む）が83.1%、〔カ〕インターネット空間が59.3%、〔ウ〕学校（卒業した学校を含む）が52.8%、〔オ〕地域が40.5%となっています。（図3-1）

2. 家庭、学校、職場以外に行ってみたい場所

問 8 (2) 家庭、学校、職場以外にどのような居場所であれば行ってみたいと思いますか。(複数回答可)

【図3-2 家庭、学校、職場以外に行ってみたい場所】



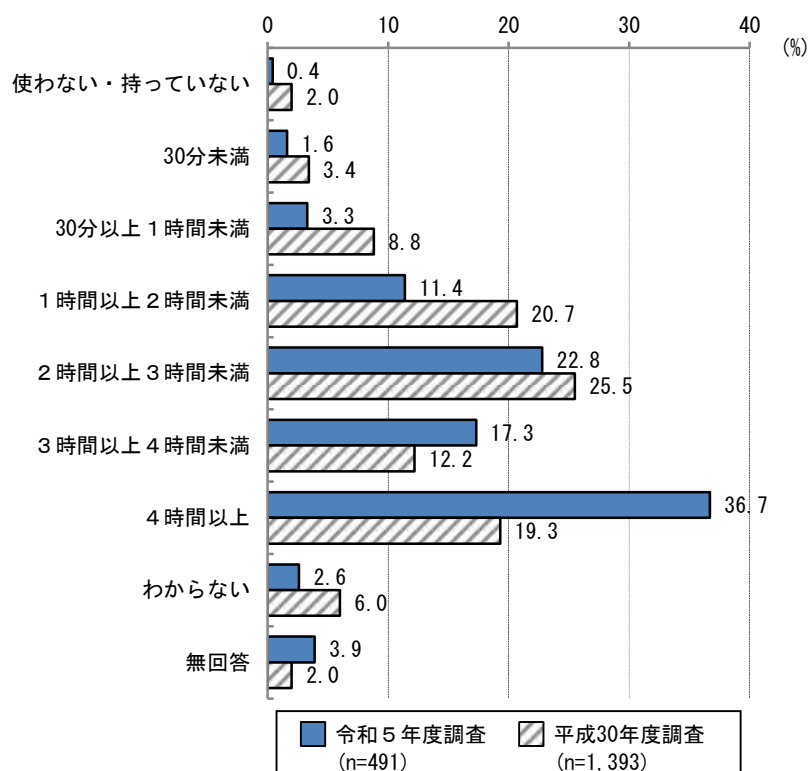
家庭、学校、職場以外に行ってみたい場所は、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が 63.3%と最も多く、次いで「好きなことをして自由に過ごせる」が 61.5%、「いつでも行きたい時に行ける」が 56.2%となっています。(図 3-2)

4 スマートフォンなどの利用について

1. スマートフォン等の平日の利用時間

問9 あなたは平日にどのくらいの時間、スマートフォンやパソコン、タブレット端末（以下「スマートフォン等」という。）を利用しますか。（○は1つ）
※休日は除きます。仕事や学習のための利用は除きます。

【図4-1 スマートフォン等の平日の利用時間】



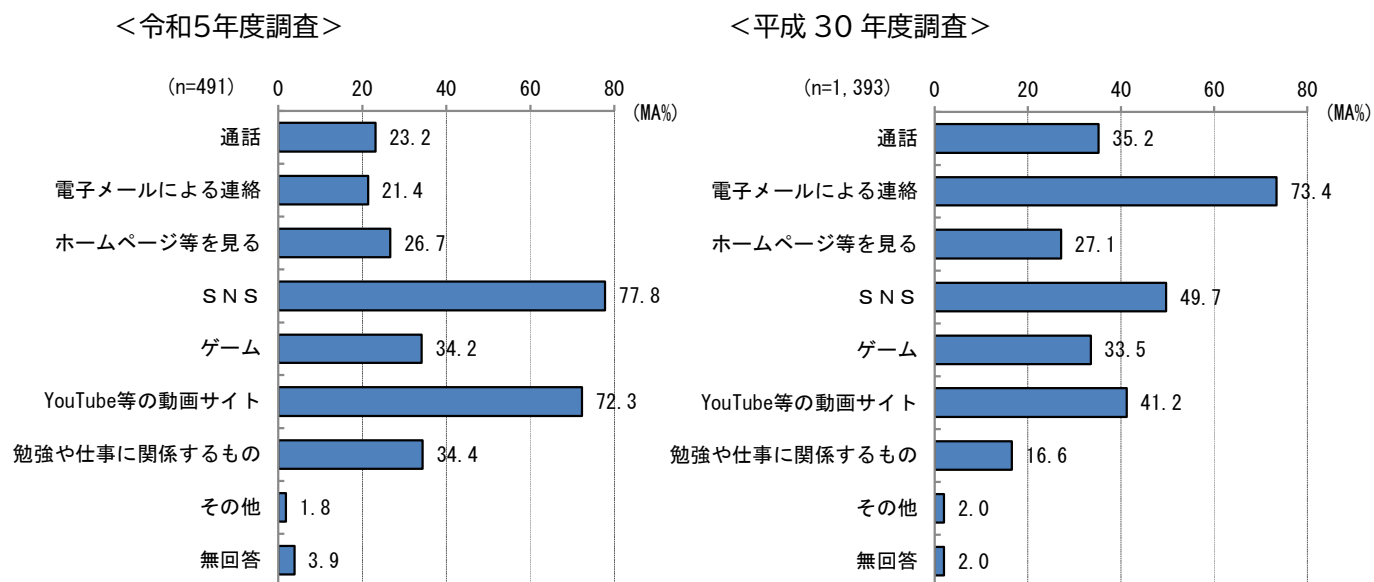
スマートフォン等の平日の利用時間は、「4時間以上」が36.7%と最も多く、次いで「2時間以上3時間未満」が22.8%、「3時間以上4時間未満」が17.3%となっています。

前回調査と比較すると、「4時間以上」が17.4ポイント高くなっています。（図4-1）

2. スマートフォン等の主な利用目的

問10 スマートフォン等の主な利用目的は何ですか。（複数回答可）

【図4-2 スマートフォン等の主な利用目的】



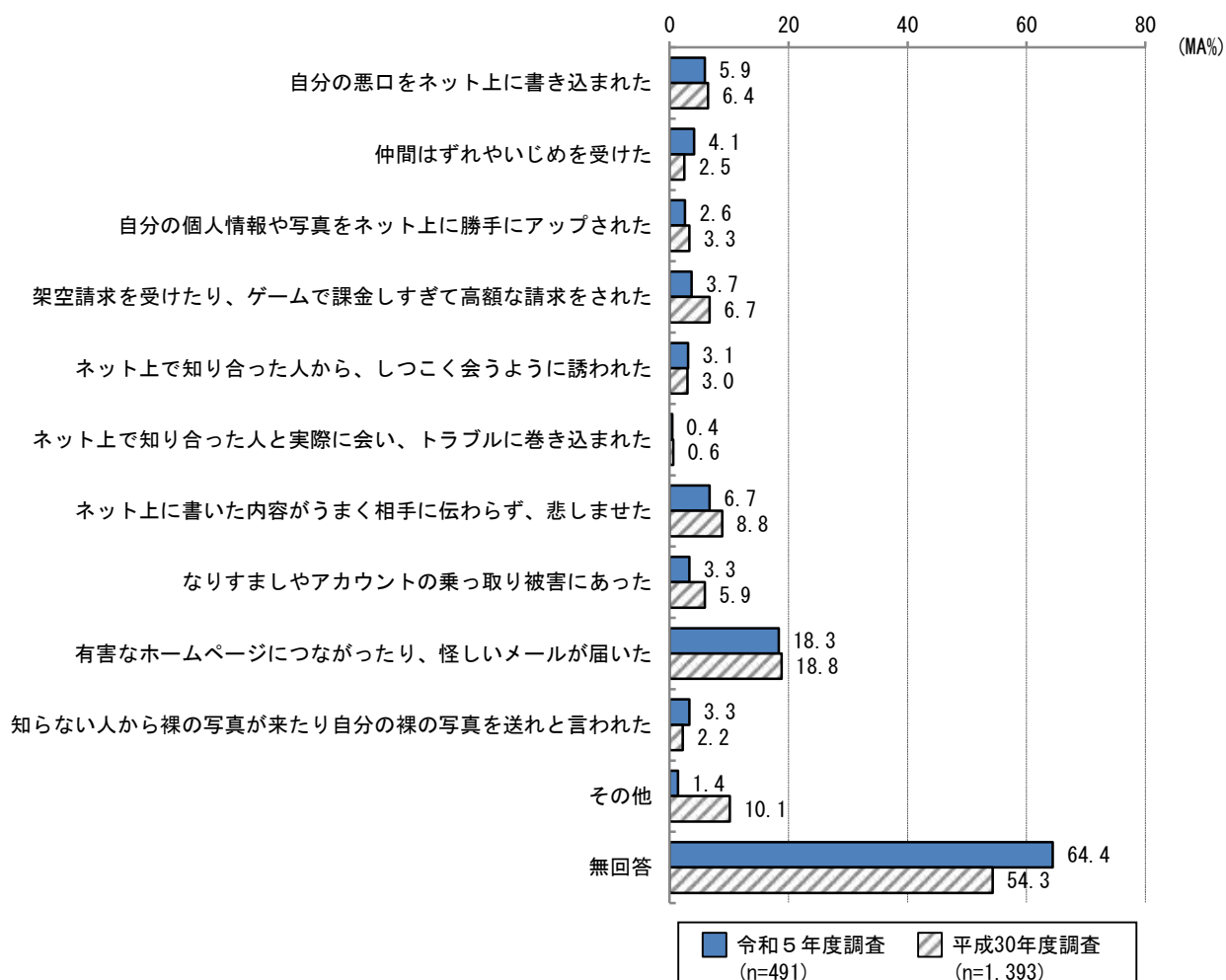
※前回調査は3つまで回答可の設問

スマートフォン等の主な利用目的は、「SNS」が77.8%と最も多く、次いで「YouTube等の動画サイト」が72.3%、「勉強や仕事に関係するもの」が34.4%、「ゲーム」が34.2%、「ホームページ等を見る」が26.7%となっています。（図4-2）

3. スマートフォン等の利用で、嫌な思いやトラブルに巻き込まれたこと

問11 スマートフォン等を利用して、嫌な思いをしたり、トラブルに巻き込まれたことはありますか。ある場合は以下の選択肢からあてはまるものを選んでください。(複数回答可)

【図4-3 スマートフォン等の利用で、嫌な思いやトラブルに巻き込まれたこと】



スマートフォン等の利用で、嫌な思いやトラブルに巻き込まれたことは、「有害なホームページにつながったり、怪しいメールが届いた」が18.3%と最も多く、次いで「ネット上に書いた内容がうまく相手に伝わらず、悲しませた」が6.7%、「自分の悪口をネット上に書き込まれた」が5.9%となっています。(図4-3)

□平日の利用時間別

【表4-3-1 平日の利用時間別 スマートフォン等の利用で、嫌な思いやトラブルに巻き込まれたこと】

													(%)	
	n	自分の悪口をネット上に書き込まれた	仲間はずれやいじめを受けた	ネット上に個人情報や写真を書き込まれた	架空請求を受けたり、高額な請求をされた	ネット上で知り合った人から、しつこく会うように誘われた	ネット上で知り合った人と実際に会いたく、トラブルに巻き込まれた	ネット上に書いた内容がうまく相手に伝わらず、悲しませた	のりすましやアカウントの乗り取り被害にあった	なりすましのメールが届いた	有名人のホームページに怪しいメールが届いた	知らない人からの裸の写真を送られたと言われた	その他	無回答
使わない・持っていない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30分未満	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30分以上 1 時間未満	16	6.3	0.0	6.3	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	81.3	
1 時間以上 2 時間未満	56	5.4	5.4	0.0	3.6	3.6	0.0	1.8	3.6	12.5	1.8	3.6	67.9	
2 時間以上 3 時間未満	112	4.5	2.7	2.7	1.8	1.8	0.0	5.4	0.9	22.3	2.7	0.0	70.5	
3 時間以上 4 時間未満	85	4.7	5.9	0.0	3.5	3.5	0.0	3.5	5.9	15.3	5.9	2.4	61.2	
4 時間以上	180	7.2	4.4	5.0	5.6	3.9	0.6	11.1	4.4	22.8	3.3	1.7	54.4	
わからない	13	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0	23.1	0.0	0.0	53.8	

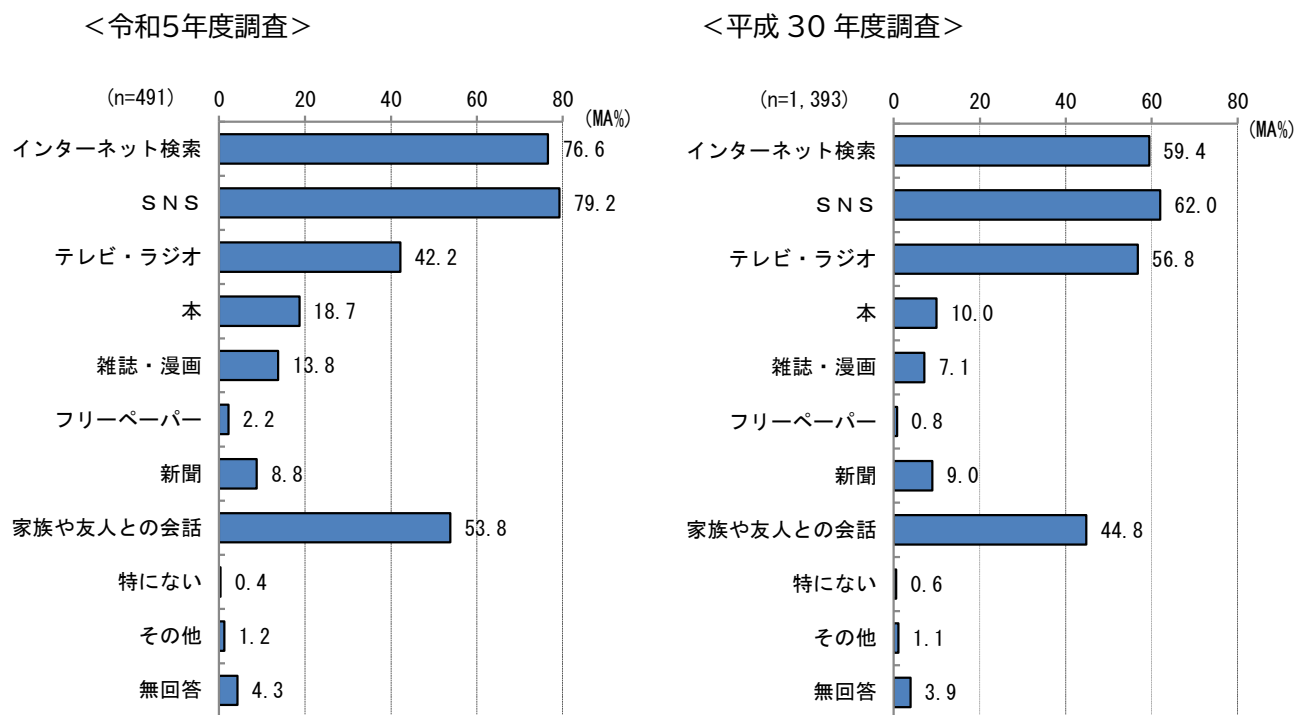
平日の利用時間別にみると、利用時間にかかわらず「有害なホームページにつながったり、怪しいメールが届いた」が多くなっています。(図 4-3-1)

5 情報収集について

1. 新しい情報の入手方法

問12 あなたは新しい情報をどのように入手していますか。(複数回答可)

【図5-1 新しい情報の入手方法】



※前回調査は3つまで回答可の設問

新しい情報の入手方法は、「SNS」が79.2%と最も多く、次いで「インターネット検索」が76.6%、「家族や友人との会話」が53.8%、「テレビ・ラジオ」が42.2%となっています。(図5-1)

6 健康について

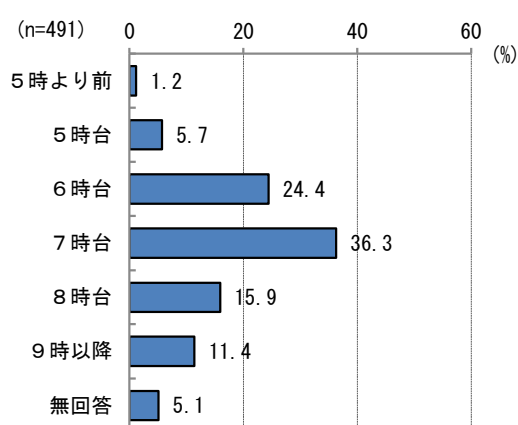
1. 起床時間と就寝時間

問13 あなたのふだんの起床時間と就寝時間を、平日・休日のそれぞれ記入してください。
※24時制で記入してください。

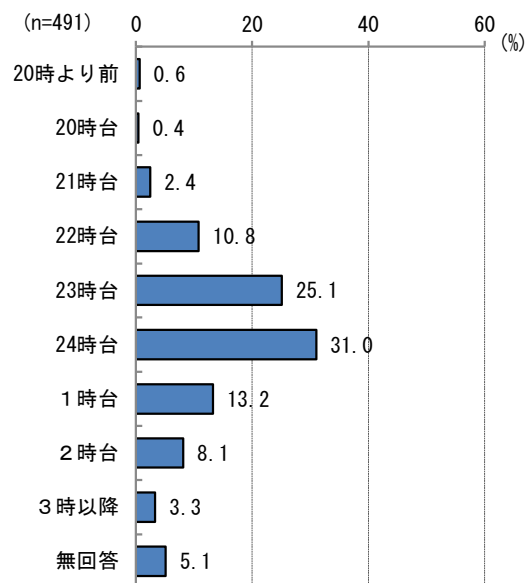
①平日

【図6-1① 平日の起床時間・就寝時間】

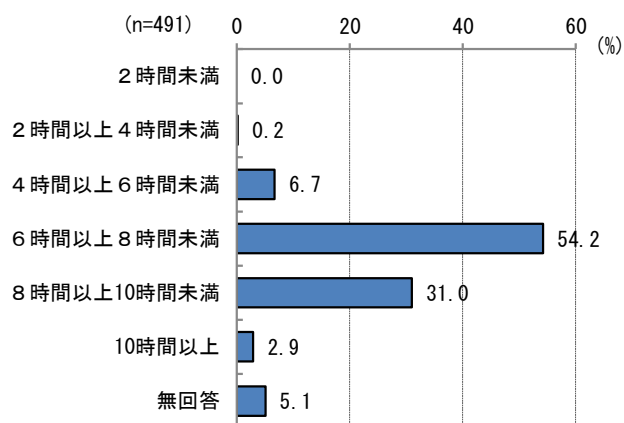
起床時間



就寝時間



睡眠時間



平日の起床時間は「7時台」が36.3%と最も多く、次いで「6時台」が24.4%、「8時台」が15.9%となっています。

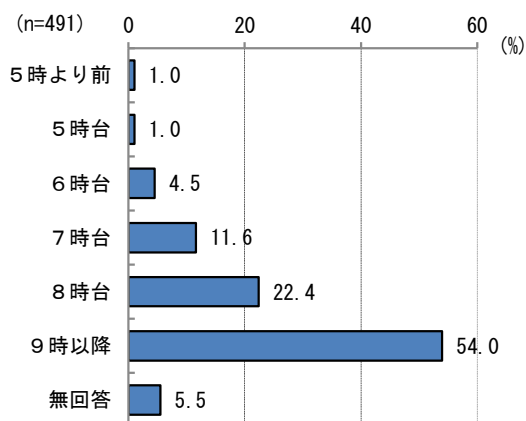
平日の就寝時間は「24時台」が最も多く、次いで「23時台」が25.1%、「1時台」が13.2%となっています。

睡眠時間は「6時間以上8時間未満」が54.2%で最も多く、次いで「8時間以上10時間未満」が31.0%となっています。(図6-1①)

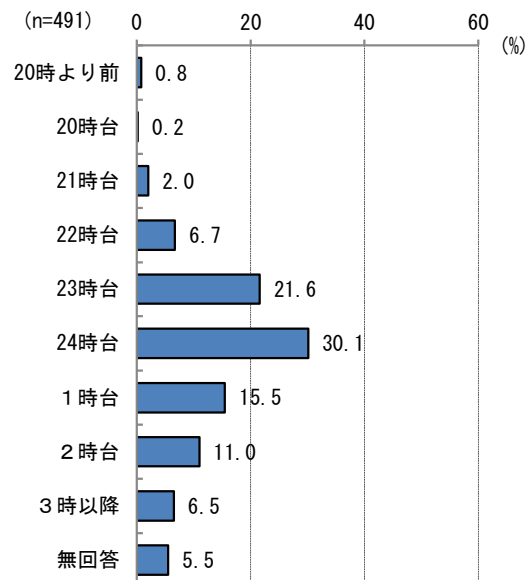
②休日

【図6-1② 休日の起床時間・就寝時間】

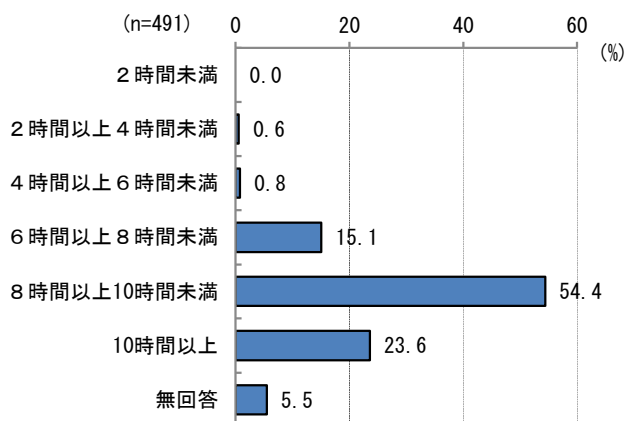
起床時間



就寝時間



睡眠時間



休日の起床時間は、「9時以降」が54.0%と最も多く、次いで「8時台」が22.4%、「7時台」が11.6%となっています。

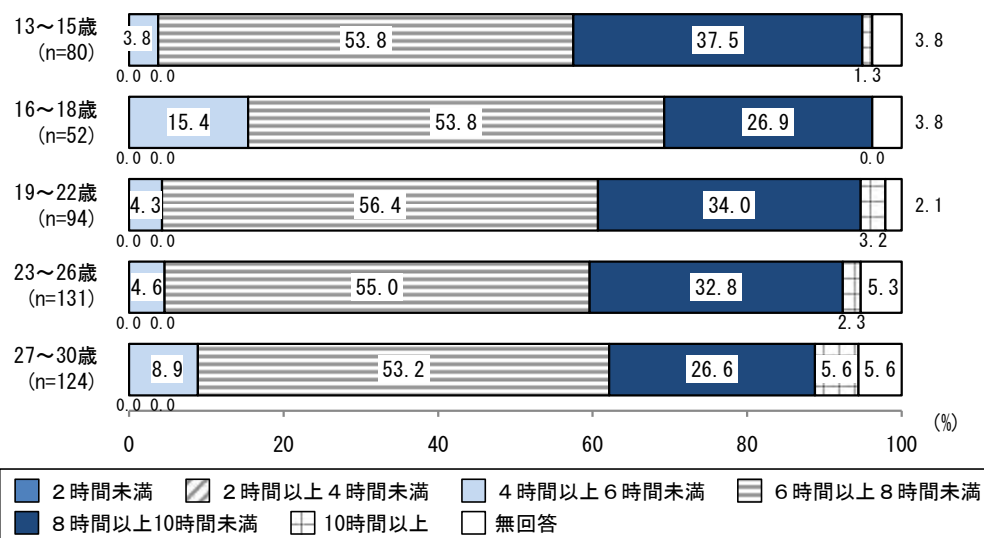
休日の就寝時間は、「24時台」が30.1%と最も多く、次いで「23時台」が21.6%、「1時台」が15.5%となっています。

睡眠時間は「8時間以上10時間未満」が54.4%で最も多く、次いで「10時間以上」が23.6%となっています。(図6-1②)

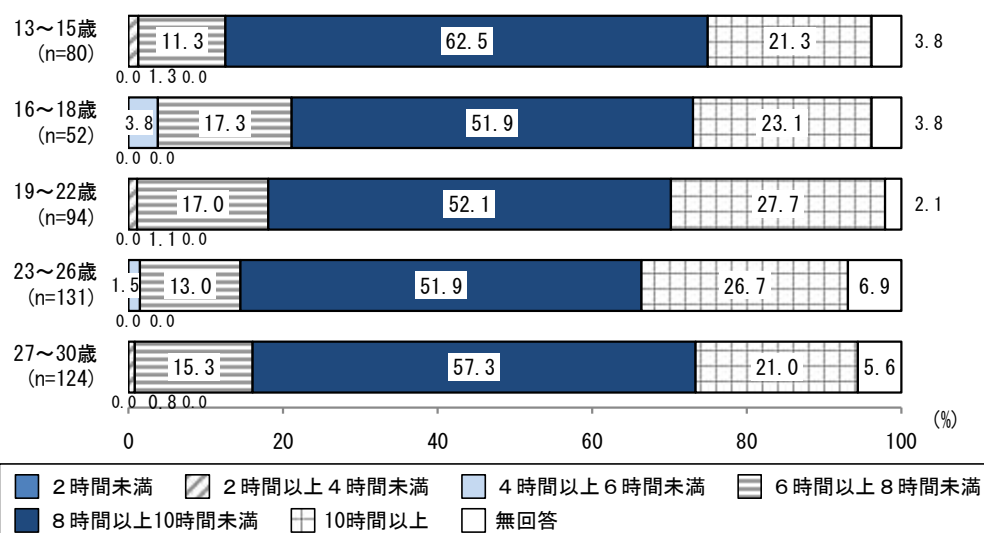
□年齢別

【図6-1-1 年齢別 睡眠時間】

①平日



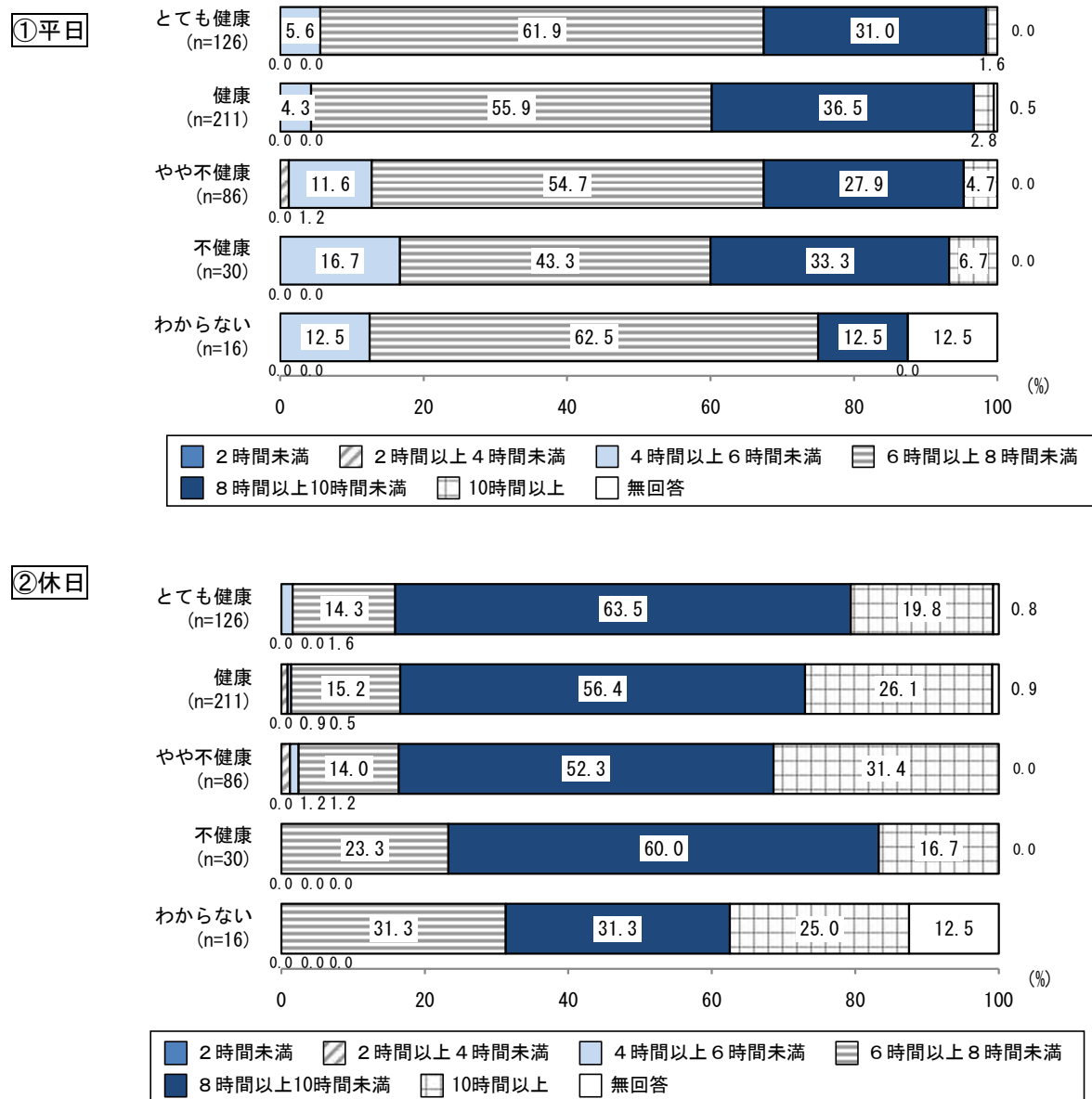
②休日



年齢別にみると、平日の睡眠時間はいずれの年齢も「6時間以上8時間未満」が最も多くなっています。休日の睡眠時間はいずれの年齢も「8時間以上10時間未満」が最も多くなっています。(図6-1-1)

□からだの主観的健康観別

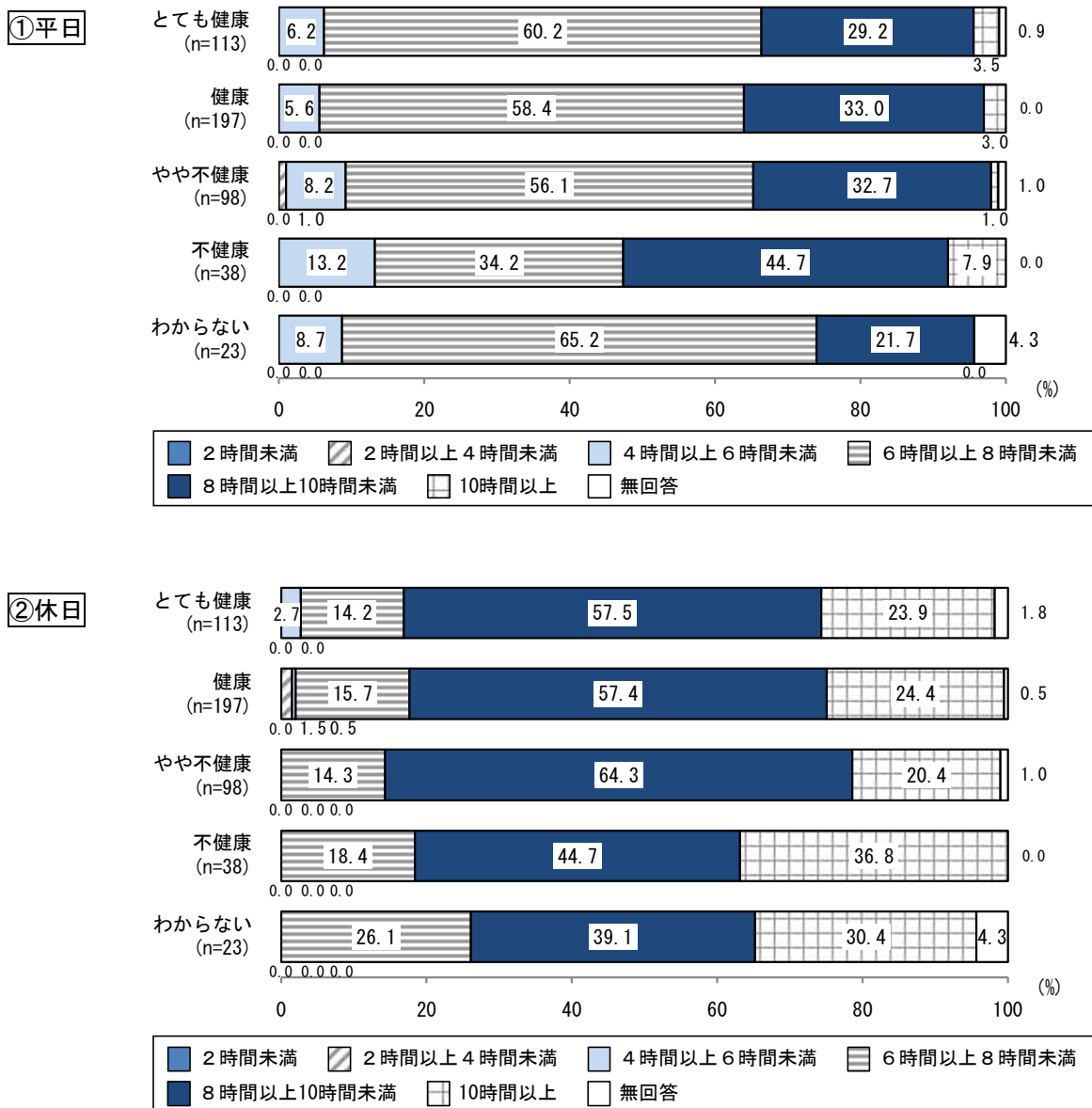
【図6-1-2 からだの主観的健康観別 睡眠時間】



からだの主観的健康観別にみると、平日の睡眠時間はいずれの健康観も「6時間以上8時間未満」が最も多くなっています。休日の睡眠時間はいずれの健康観も「8時間以上10時間未満」が最も多くなっています。(図6-1-2)

□こころの主観的健康観別

【図6-1-3 こころの主観的健康観別 睡眠時間】



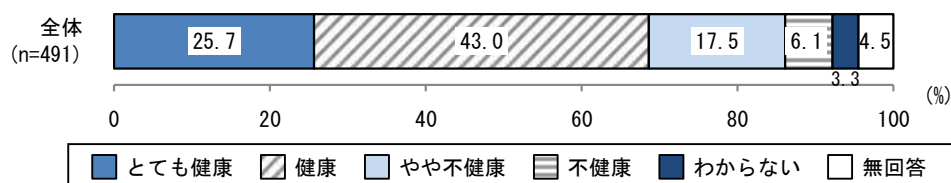
こころの主観的健康観別にみると、平日は“不健康”で「8時間以上10時間未満」が最も多く、それ以外の健康観では「6時間以上8時間未満」が最も多くなっています。休日はいずれの健康観も「8時間以上10時間未満」が最も多くなっています。(図6-1-3)

2. からだの主観的健康観

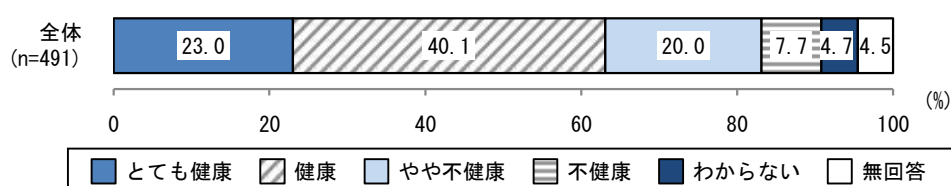
問14 あなたは自分の健康についてどのように思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

【図6-2 主観的健康観】

①からだ



②こころ



からだの主観的健康観は、『健康』（「とても健康」＋「健康」）が68.7%、『不健康』（「やや不健康」＋「不健康」）が23.6%となっています。

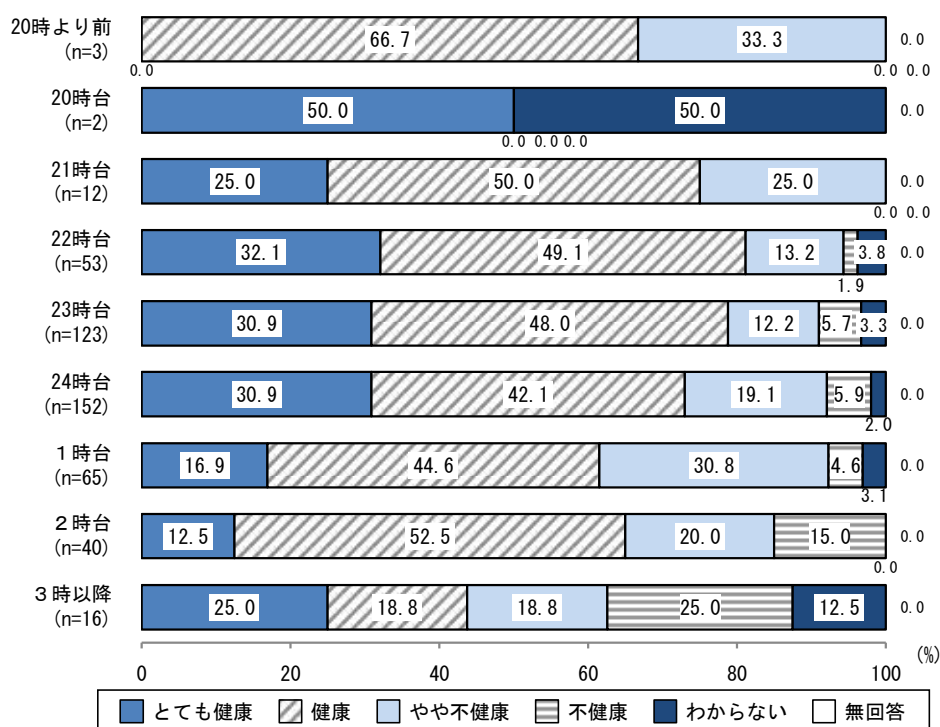
こころの主観的健康観は、『健康』が63.1%、『不健康』が27.7%となっています。（図6-2）

①からだ

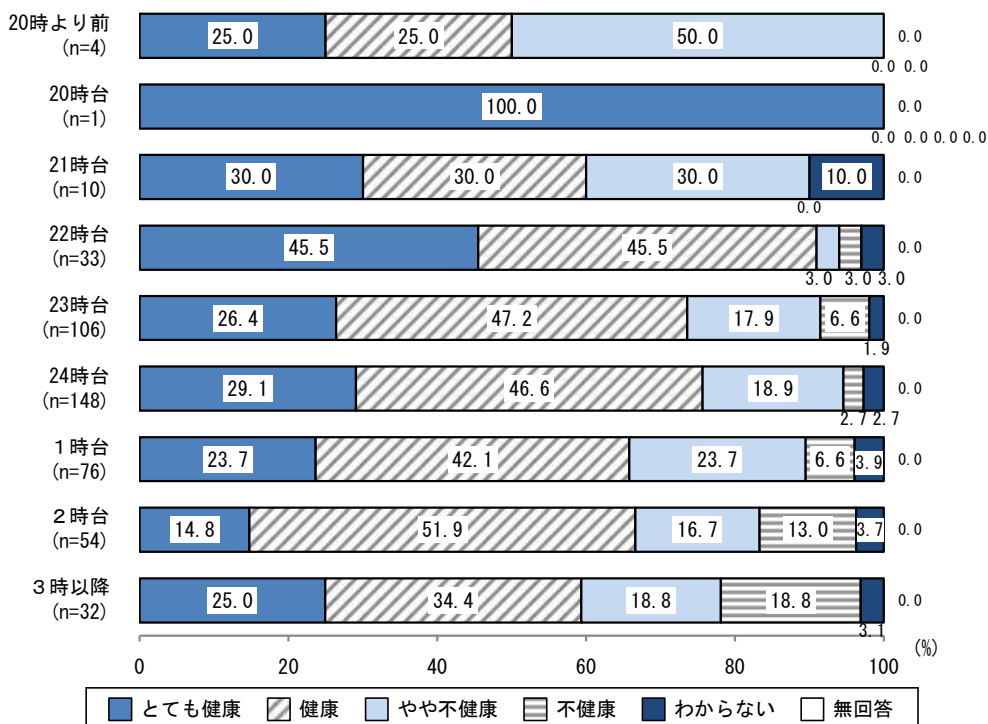
□就寝時間別

【図6-2-1 就寝時間別 からだの主観的健康観】

平日



休日



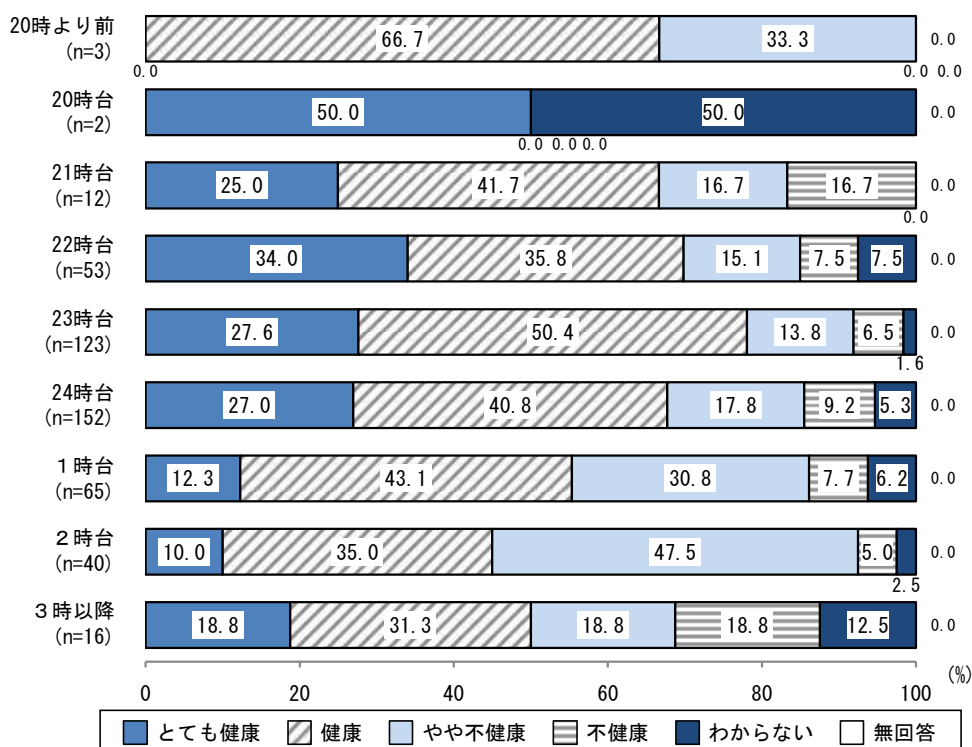
就寝時間別にみると、平日は“21 時台”“22 時台”“23 時台”“24 時台”で『健康』が7割以上となっています。休日は“20 時台”“22 時台”“23 時台”“24 時台”で『健康』が7割以上となっています。(図 6-2-1)

②こころ

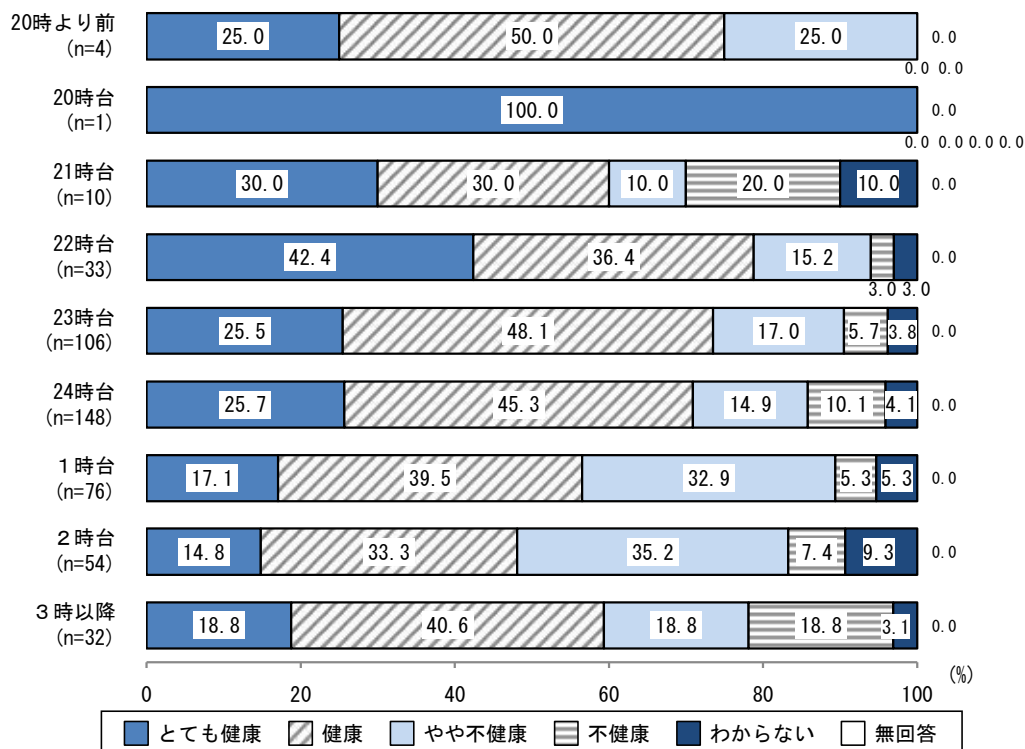
□就寝時間別

【図6-2-2 就寝時間別 こころの主観的健康観】

平日



休日



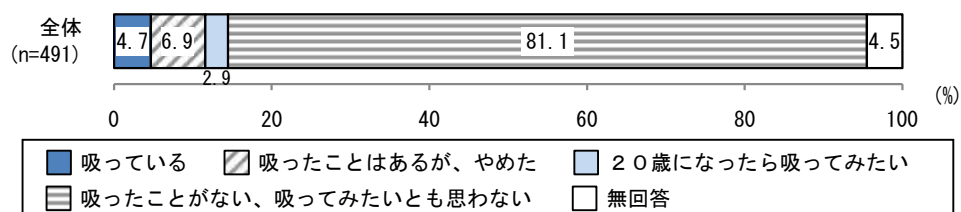
就寝時間別にみると、平日は“23 時台”で『健康』が7割以上となっています。休日は“20 時より前”“20 時台”“22 時台”“23 時台”“24 時台”で『健康』が7割以上となっています。

(図 6-2-2)

3. 喫煙の有無

問15 あなたはたばこを吸いますか。(○は1つ)

【図6-3 喫煙の有無】

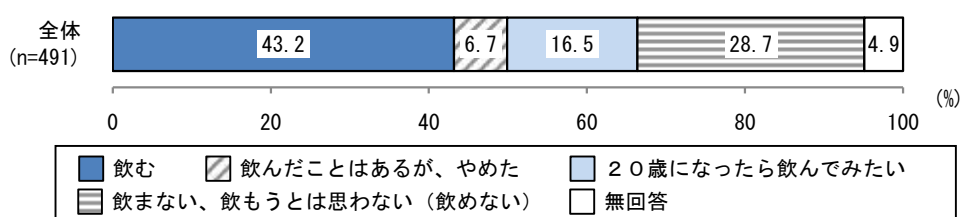


喫煙の有無は、「吸ったことがない、吸ってみたいとも思わない」が81.1%と最も多く、次いで「吸ったことはあるが、やめた」が6.9%、「吸っている」が4.7%、「20歳になったら吸ってみたい」が2.9%となっています。(図6-3)

4. 飲酒の有無

問16 あなたはお酒を飲みますか。(○は1つ)

【図6-4 飲酒の有無】

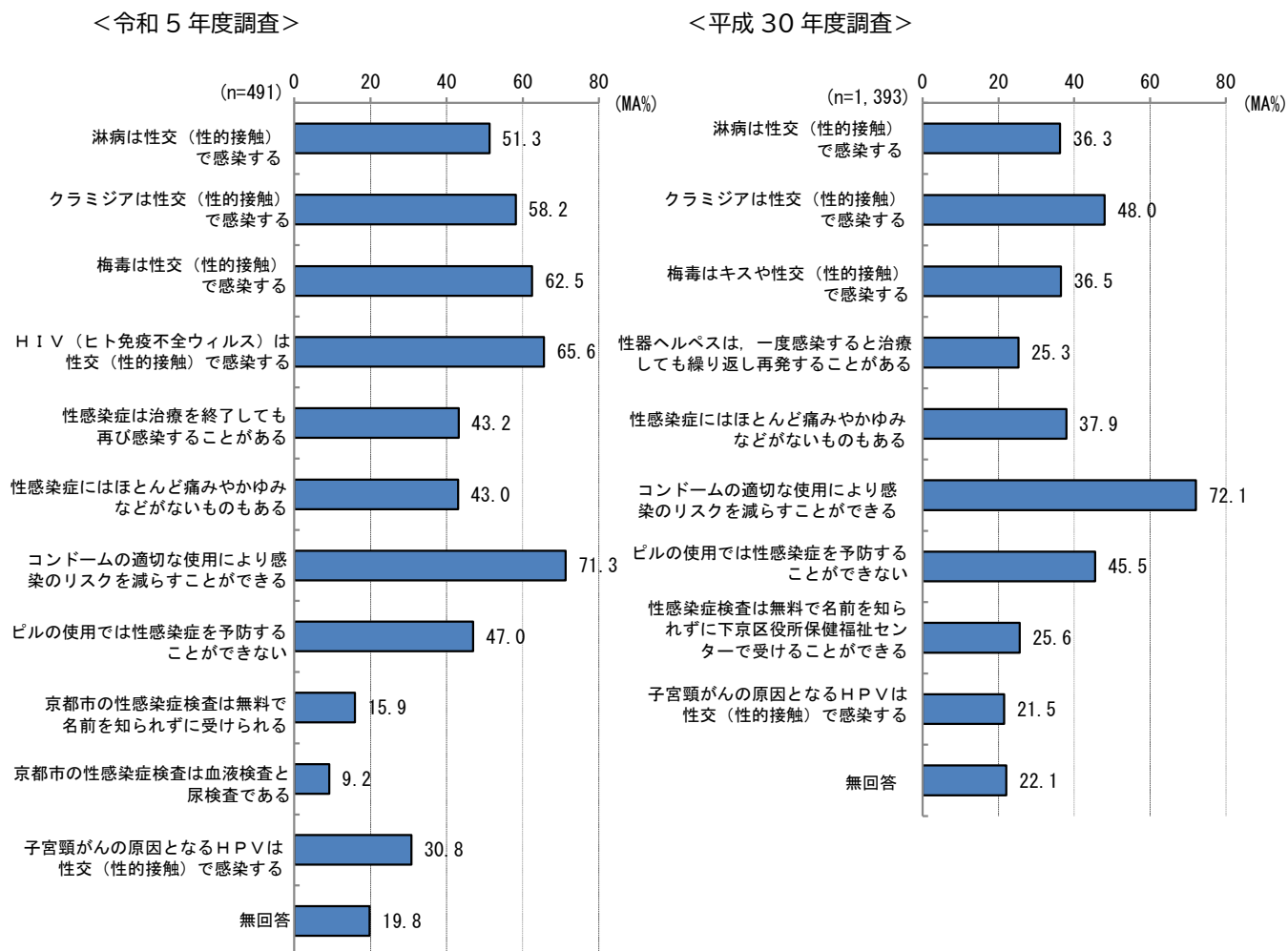


飲酒の有無は、「飲む」が43.2%と最も多く、次いで「飲まない、飲もうとは思わない(飲めない)」が28.7%、「20歳になったら飲んでみたい」が16.5%、「飲んだことはあるが、やめた」が6.7%となっています。(図6-4)

5. 性感染症について知っていること

問17 あなたは性感染症について知っていることはありますか。(複数回答可)

【図6-5 性感染症について知っていること】



性感染症について知っていることは、「コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができる」が71.3%と最も多く、次いで「H I V（ヒト免疫不全ウイルス）は性交（性的接触）で感染する」が65.6%、「梅毒は性交（性的接触）で感染する」が62.5%、「クラミジアは性交（性的接触）で感染する」が58.2%、「淋病は性交（性的接触）で感染する」が51.3%となっています。（図6-5）

□年齢別

【表6-5-1 年齢別 性感染症について知っていること】

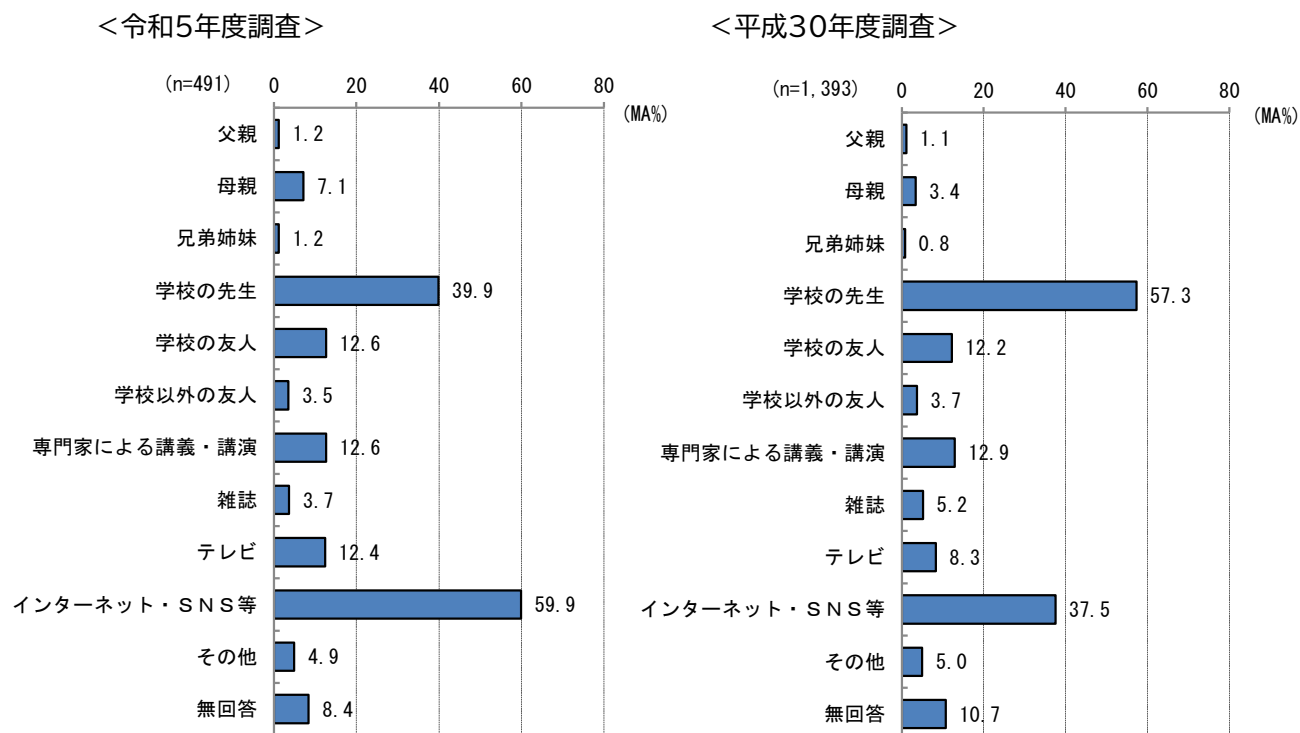
														(%)
	n	淋病は性交（性的接触）で感染する	クラミジアは性交（性的接触）で感染する	梅毒は性交（性的接触）で感染する	Hⅴⅴ（ヒト免疫不全ウイルス）は性交（性的接触）で感染する	性感染症は治療を終了しても再び感染することがある	痛みやかゆみなどがないものもある	性感染症にはほとんどがコンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができる	症を予防することができない	ピルの使用では性感染は無料で名前を知られずに受けられる	京都市の性感染症検査は血液検査と尿検査である	京都市の性感染症検査は血液検査と尿検査である	子宮頸がんの原因となるHPⅴは性交（性的接触）で感染する	無回答
13～15歳	80	25.0	22.5	27.5	27.5	15.0	21.3	38.8	16.3	10.0	3.8	13.8	50.0	
16～18歳	52	53.8	61.5	65.4	65.4	46.2	55.8	75.0	44.2	15.4	11.5	28.8	21.2	
19～22歳	94	57.4	66.0	67.0	74.5	44.7	46.8	77.7	52.1	16.0	9.6	39.4	12.8	
23～26歳	131	56.5	65.6	67.2	71.0	49.6	45.8	78.6	52.7	19.1	9.2	33.6	11.5	
27～30歳	124	58.1	67.7	77.4	79.0	52.4	46.8	80.6	61.3	16.9	12.1	33.9	11.3	

年齢別にみると、いずれの年齢も「コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができる」が最も多く、次いで「HIV（ヒト免疫不全ウイルス）は性交（性的接触）で感染する」、「梅毒は性交（性的接触）で感染する」となっています。（表 6-5-1）

6. 性感染症や避妊方法についての情報入手元

問18 性感染症や避妊方法について、何から情報を得ていますか。(複数回答可)

【図6-6 性感染症や避妊方法についての情報入手元】



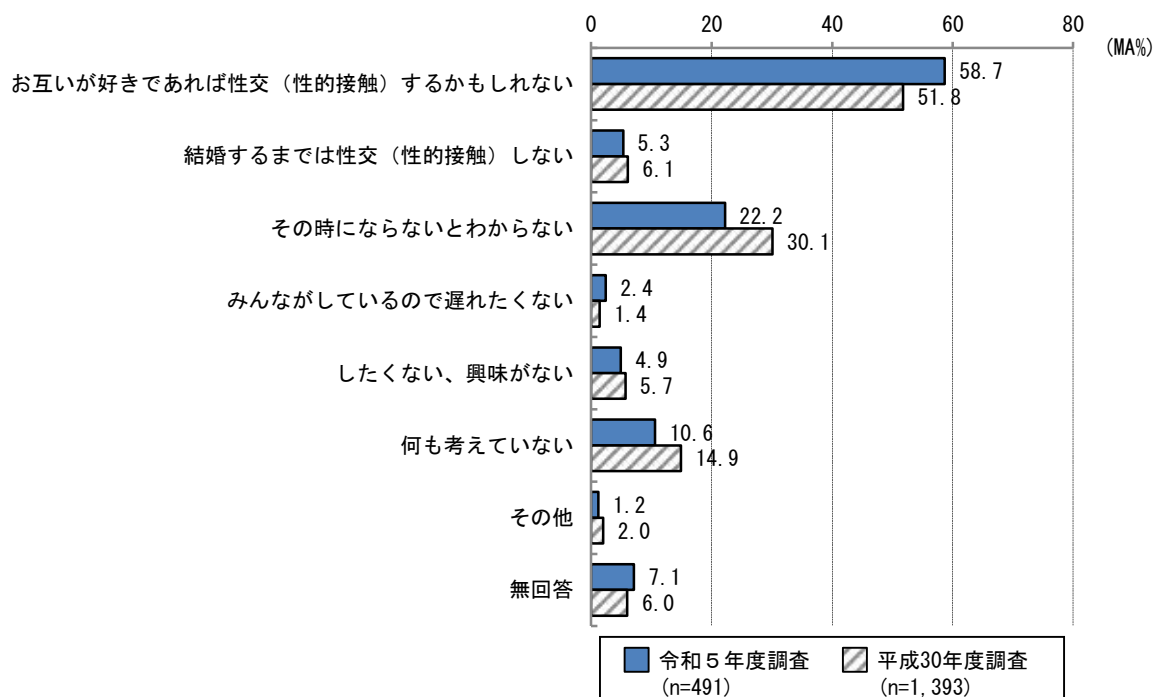
※前回調査は3つまで回答可の設問

性感染症や避妊方法についての情報入手元は、「インターネット・SNS等」が59.9%と最も多く、次いで「学校の先生」が39.9%、「学校の友人」、「専門家による講義・講演」がそれぞれ12.6%となっています。(図6-6)

7. 性交(性的接触)に対する考え方

問19 あなたは性交（性的接触）についてどのように考えていますか。（複数回答可）

【図6-7 性交(性的接触)に対する考え方】



性交（性的接触）に対する考え方は、「お互いが好きであれば性交（性的接触）するかもしれない」が58.7%と最も多く、次いで「その時にならないとわからない」が22.2%、「何も考えていない」が10.6%となっています。（図6-7）

□年齢別

【表6-7-1 年齢別 性交(性的接触)に対する考え方】

	n	か性お も交互 しれ ない 性交 （性的 接触） すれば	（結 婚す るま では 性交 しない	か そ の 時 に な ら な い と わ	遅 み ん た く が な い て い る の で	い し た く な い 、 興 味 が な	何 も 考 え て い な い	そ の 他	(%) 無 回 答
13～15歳	80	18.8	8.8	31.3	0.0	12.5	25.0	0.0	11.3
16～18歳	52	46.2	3.8	38.5	1.9	5.8	15.4	0.0	7.7
19～22歳	94	66.0	7.4	26.6	4.3	4.3	7.4	2.1	1.1
23～26歳	131	73.3	2.3	16.8	3.8	3.1	4.6	0.8	7.6
27～30歳	124	71.0	4.0	12.9	1.6	2.4	8.1	2.4	5.6

年齢別にみると、“13～15歳”は、「その時にならないとわからない」が31.3%と最も多く、16歳以上では「お互いが好きであれば性交（性的接触）するかもしれない」が最も多くなっています。（表6-7-1）

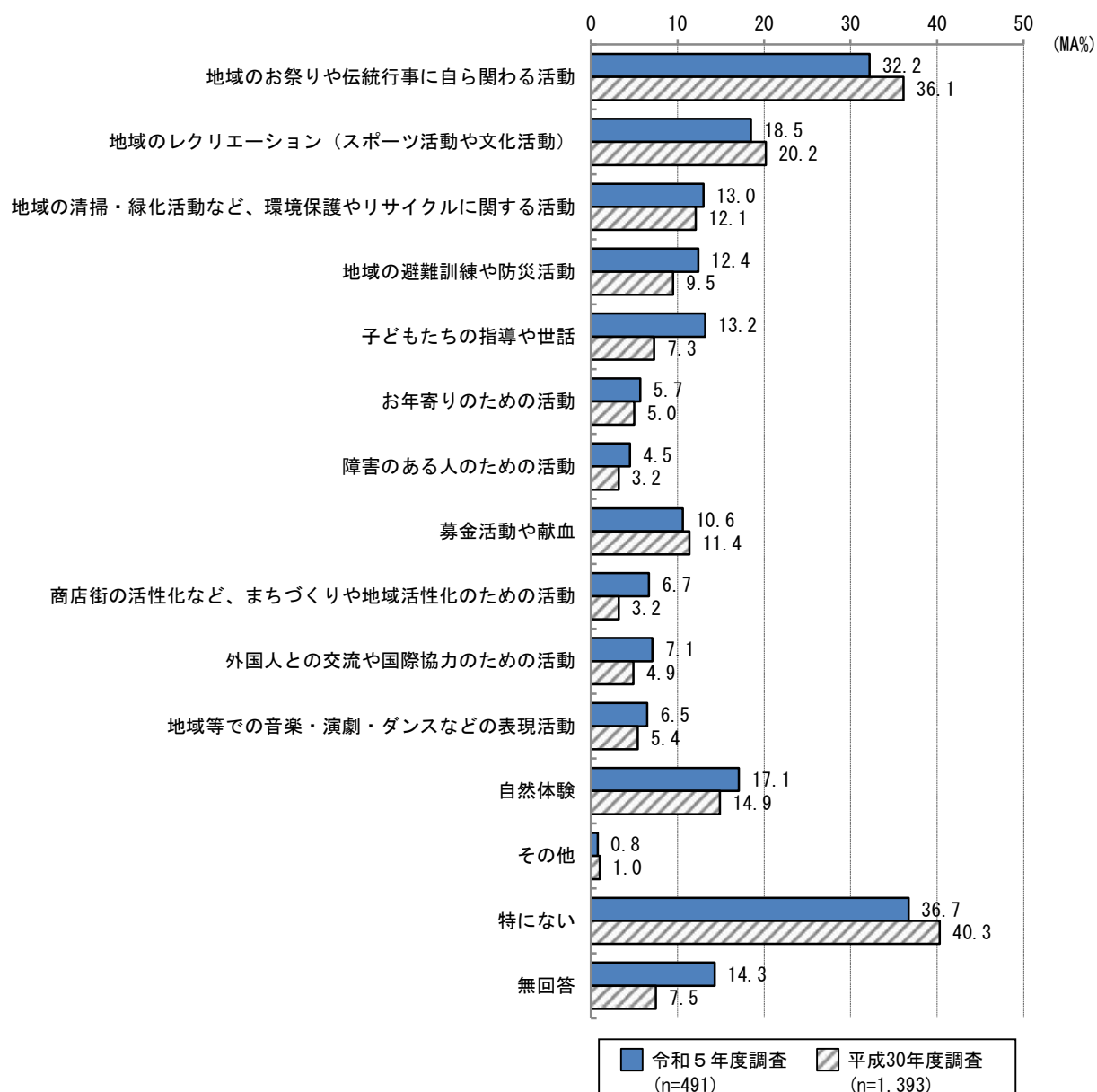
7 地域活動への参加について

1. 参加したことがある地域活動

問20(1) 地域活動への参加状況について教えてください。(複数回答可)
 この3年間で、学校や仕事以外で、1～13の活動に参加したことがありますか。
 また、今後参加してみたい活動は何ですか。

①参加したことがある地域活動

【図7-1① 参加したことがある地域活動】



参加したことがある地域活動は、「地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動」が32.2%と最も多く、次いで「地域のレクリエーション（スポーツ活動や文化活動）」が18.5%、「自然体験」が17.1%となっています。一方「特にない」は36.7%となっています。

前回調査と比較すると、「子どもたちの指導や世話」が5.9ポイント高くなっています。(図7-1①)

□参加した活動を知った情報元別

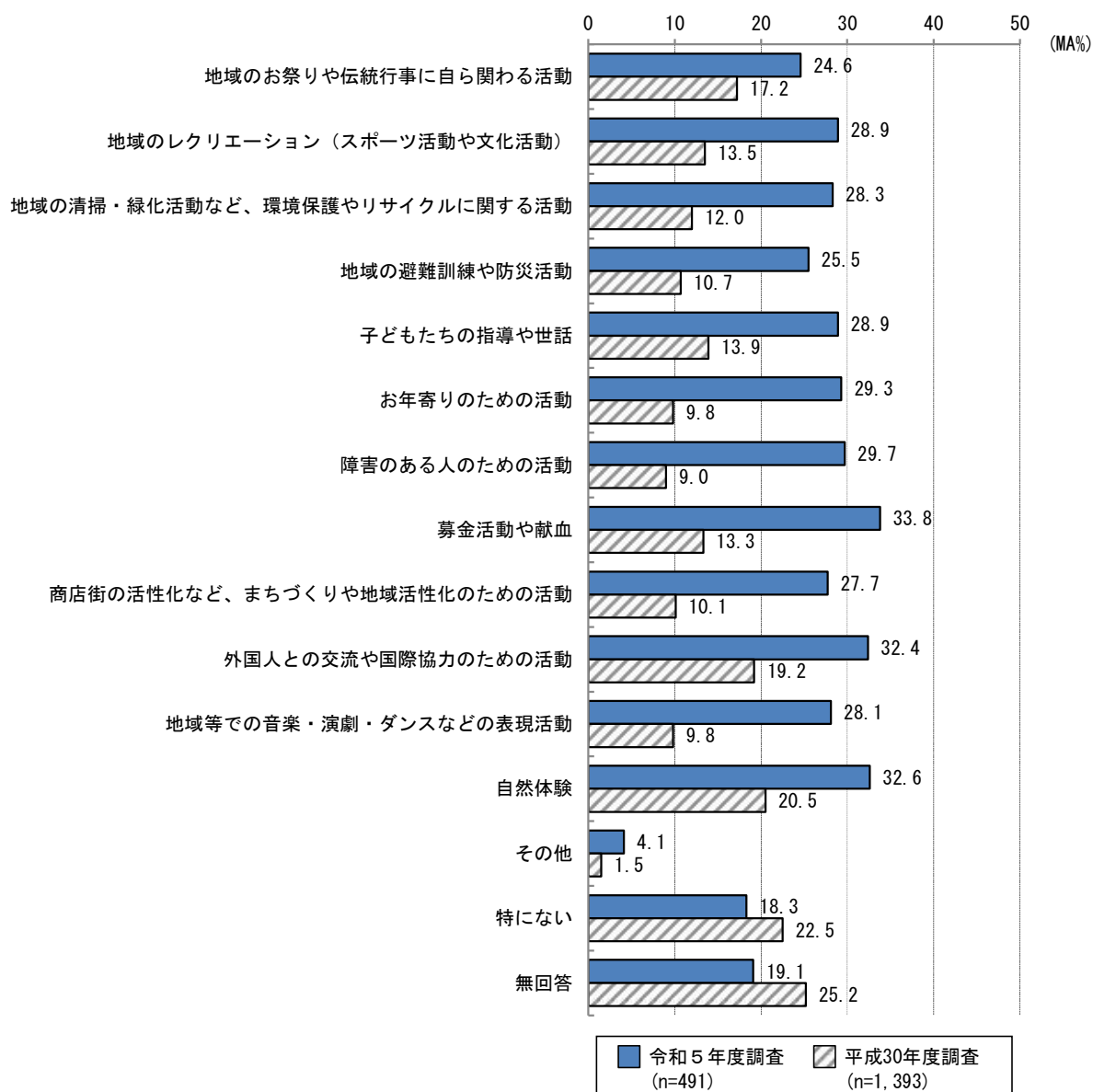
【表7-1①-1 参加した活動を知った情報元別 参加したことがある地域活動】

	n	地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動	地域のレクリエーション（スポーツ活動や文化活動）	地域の清掃・緑化活動など、環境保護やリサイクルに関する活動	地域の避難訓練や防災活動	子どもたちの指導や世話	お年寄りのための活動	障害のある人のための活動	募金活動や献血	商店街の活性化など、まちづくりや地域活性化のための活動	外国人との交流や国際協力のための活動	地域の表現活動（音楽・演劇・ダンスなど）	自然体験	その他	特になし	無回答
インターネット検索	65	67.7	32.3	29.2	32.3	32.3	13.8	10.8	27.7	18.5	24.6	21.5	38.5	1.5	0.0	0.0
S N S	60	60.0	31.7	25.0	41.7	30.0	13.3	8.3	28.3	21.7	20.0	20.0	46.7	0.0	0.0	0.0
テレビ・ラジオ	20	45.0	35.0	25.0	50.0	40.0	30.0	25.0	25.0	20.0	25.0	25.0	45.0	0.0	0.0	0.0
本	7	42.9	28.6	42.9	28.6	57.1	42.9	14.3	42.9	28.6	42.9	28.6	85.7	0.0	0.0	0.0
雑誌・漫画	4	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
フリーペーパー	17	76.5	58.8	41.2	29.4	35.3	11.8	11.8	23.5	35.3	23.5	35.3	47.1	0.0	0.0	0.0
新聞	7	85.7	42.9	71.4	57.1	71.4	42.9	42.9	28.6	14.3	42.9	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0
家族や友人との会話	114	73.7	43.0	28.9	30.7	30.7	10.5	7.0	15.8	12.3	16.7	11.4	41.2	2.6	0.0	0.0
特になし	26	65.4	30.8	19.2	7.7	11.5	11.5	3.8	11.5	3.8	3.8	11.5	30.8	0.0	0.0	0.0
その他	41	58.5	39.0	29.3	22.0	31.7	14.6	14.6	26.8	12.2	14.6	9.8	26.8	2.4	0.0	0.0

参加した活動を知った情報元別にみると、“テレビ・ラジオ”、“本” 以外では「地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動」が最も多くなっています。“テレビ・ラジオ” は「地域の避難訓練や防災活動」が最も多く、“本” は「自然体験」が最も多くなっています。（表 7-1①-1）

②今後参加してみたい地域活動

【図7-1② 今後参加してみたい地域活動】



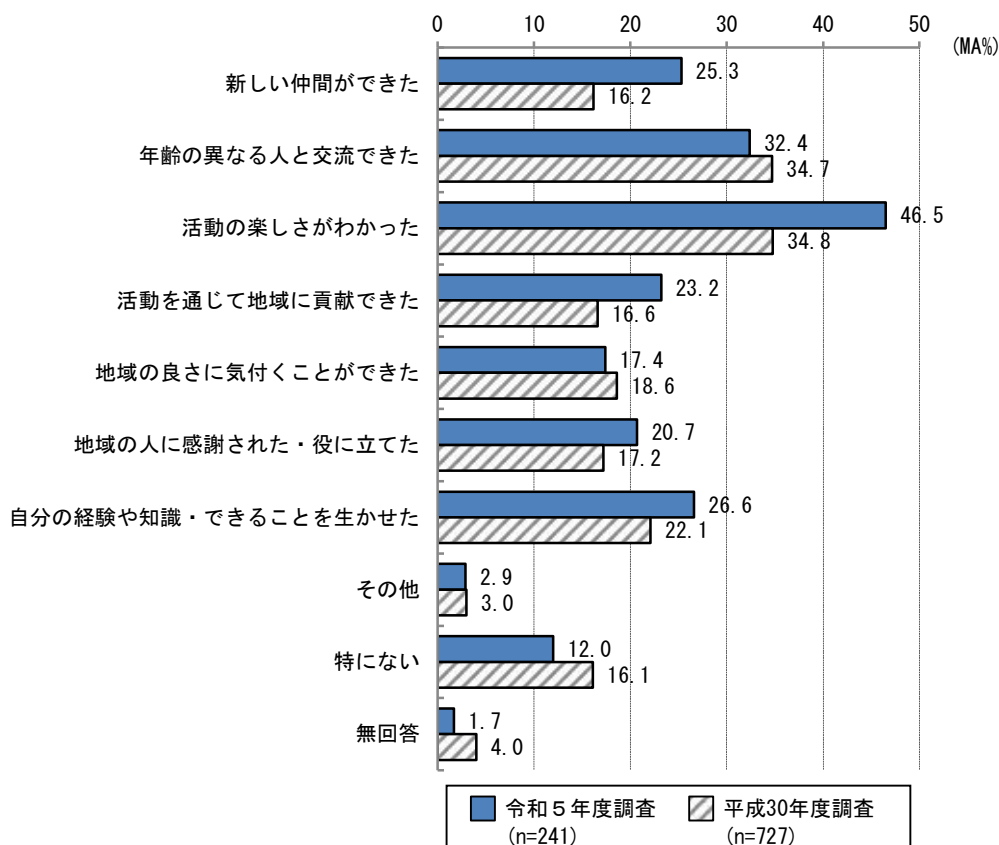
今後参加してみたい地域活動は、「募金活動や献血」が33.8%と最も多く、次いで「自然体験」が32.6%、「外国人との交流や国際協力のための活動」が32.4%、「障害のある人のための活動」が29.7%、「お年寄りのための活動」が29.3%となっています。

前回調査と比較すると、いずれの項目も前回調査より割合が高くなっています。（図7-1②）

2. 活動に参加して良かったと思うこと

《問20(1)で「1」から「13」のいずれか1つでも「参加したことがある」と答えた方にうかがいます。》
問20(2) その活動に参加して良かったと思うことは何ですか。(複数回答可)

【図7-2 活動に参加して良かったと思うこと】

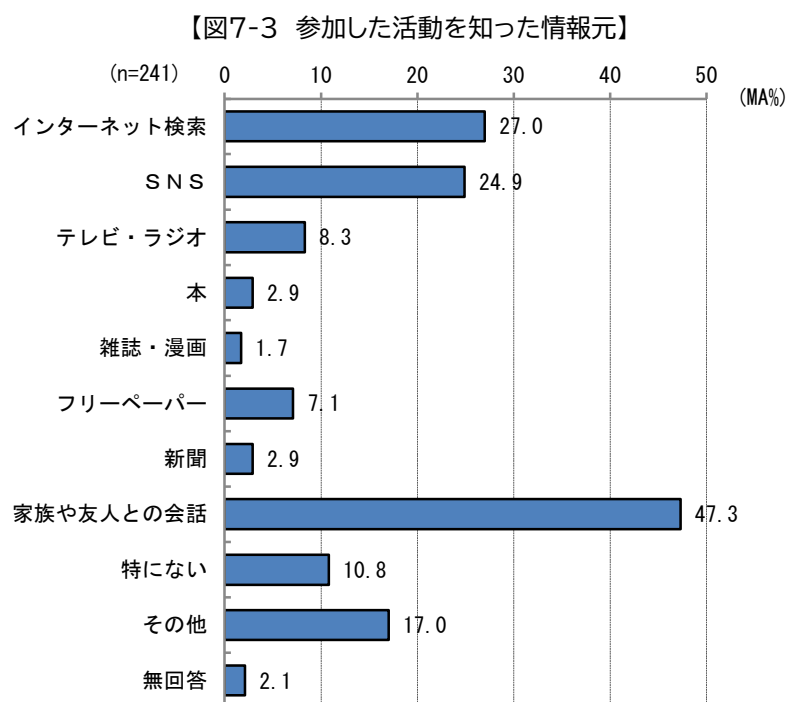


活動に参加して良かったと思うことは、「活動の楽しさがわかった」が46.5%と最も多く、次いで「年齢の異なる人と交流できた」が32.4%、「自分の経験や知識・できることを生かした」が26.6%、「新しい仲間ができた」が25.3%となっています。

前回調査と比較すると、「活動の楽しさがわかった」が11.7ポイント、「新しい仲間ができた」が9.1ポイント高くなっています。(図7-2)

3. 参加した活動を知った情報元

問20(3) 参加した活動についての情報をどこで知りましたか。(複数回答可)

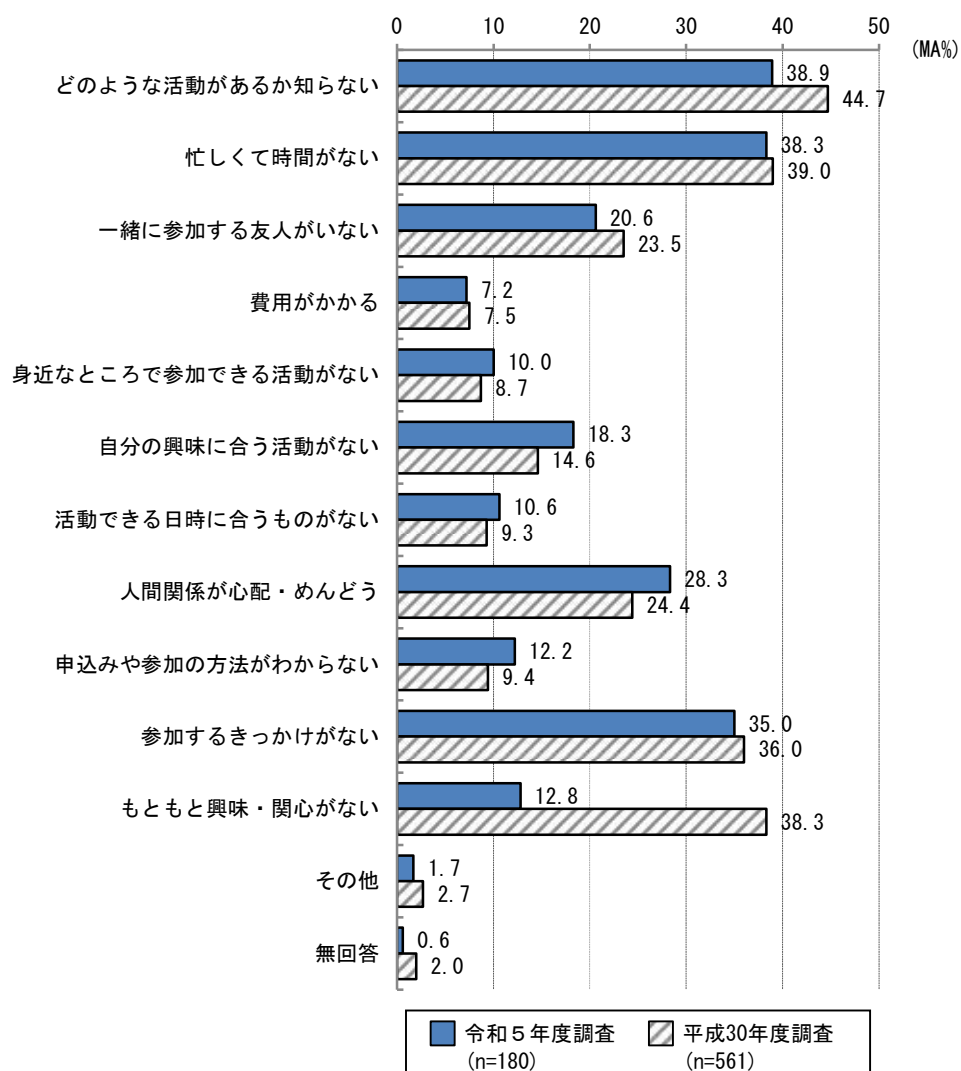


参加した活動を知った情報元は、「家族や友人との会話」が47.3%と最も多く、次いで「インターネット検索」が27.0%、「SNS」が24.9%となっています。(図7-3)

4. 地域活動に参加しなかった理由

《問20(1)で「14. 特になし」と答えた方にうかがいます。
問20(4) 参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

【図7-4 地域活動に参加しなかった理由】



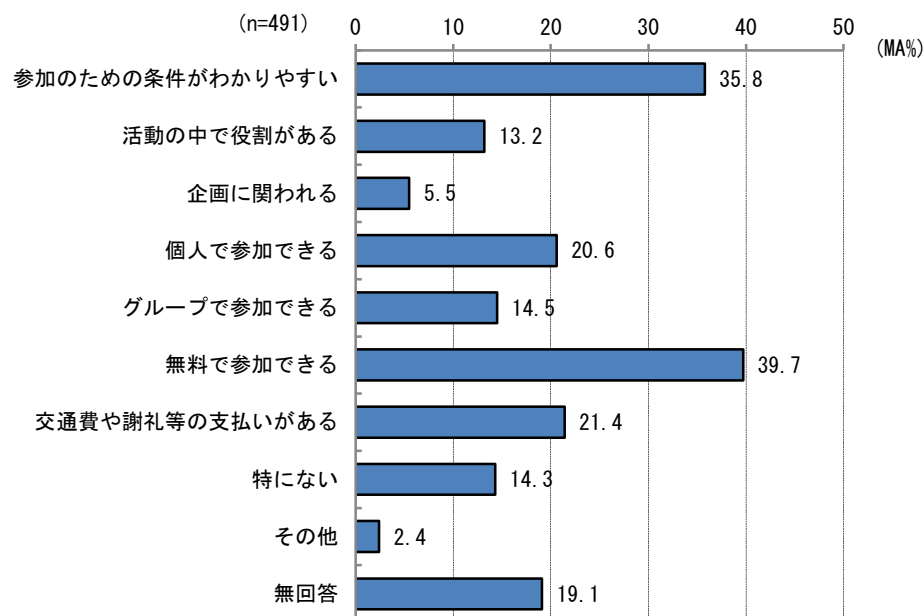
地域活動に参加しなかった理由は、「どのような活動があるか知らない」が38.9%と最も多く、次いで「忙しくて時間がない」が38.3%、「参加するきっかけがない」が35.0%、「人間関係が心配・めんどう」が28.3%となっています。

前回調査と比較すると、「もともと興味・関心がない」が25.5ポイント低くなっています。
(図7-4)

5. 地域活動に参加しやすくなる要素

問20(5) どのような要素があれば参加しやすいと思いますか。(複数回答可)

【図7-5 地域活動に参加しやすくなる要素】



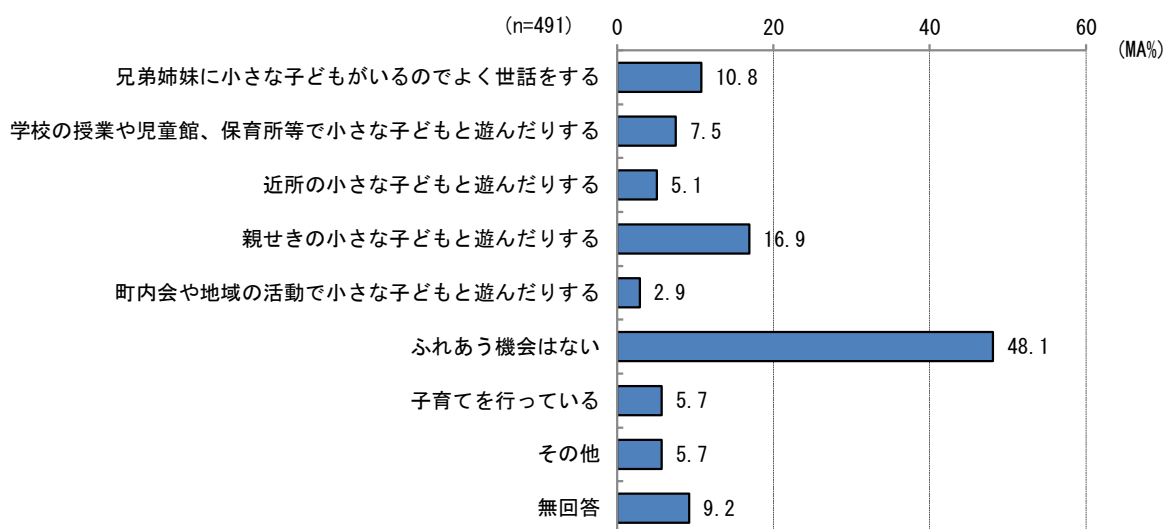
地域活動に参加しやすくなる要素は、「無料で参加できる」が39.7%と最も多く、次いで「参加のための条件がわかりやすい」が35.8%、「交通費や謝礼等の支払いがある」が21.4%、「個人で参加できる」が20.6%となっています。(図7-5)

8 小さな子どもとふれあう機会について

1. 小さな子どもとふれあう機会

問21 あなたは小さな子どもとふれあう機会がありますか。(複数回答可)

【図8-1 小さな子どもとふれあう機会】



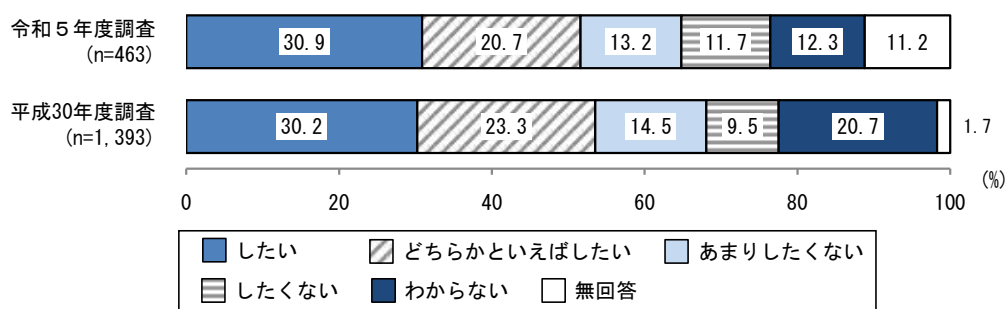
小さな子どもとふれあう機会は、「ふれあう機会はない」が48.1%と最も多く、次いで「親せきの小さな子どもと遊んだりする」が16.9%、「兄弟姉妹に小さな子どもがいるのでよく世話をする」が10.8%となっています。(図8-1)

2. 育児体験の意向

《子育てをした経験がない方にうかがいます。》

問22 あなたは育児体験（抱っこする、おむつを替える、一緒に遊ぶなど）をしたいと思いますか。(〇は1つ)

【図8-2 育児体験の意向】



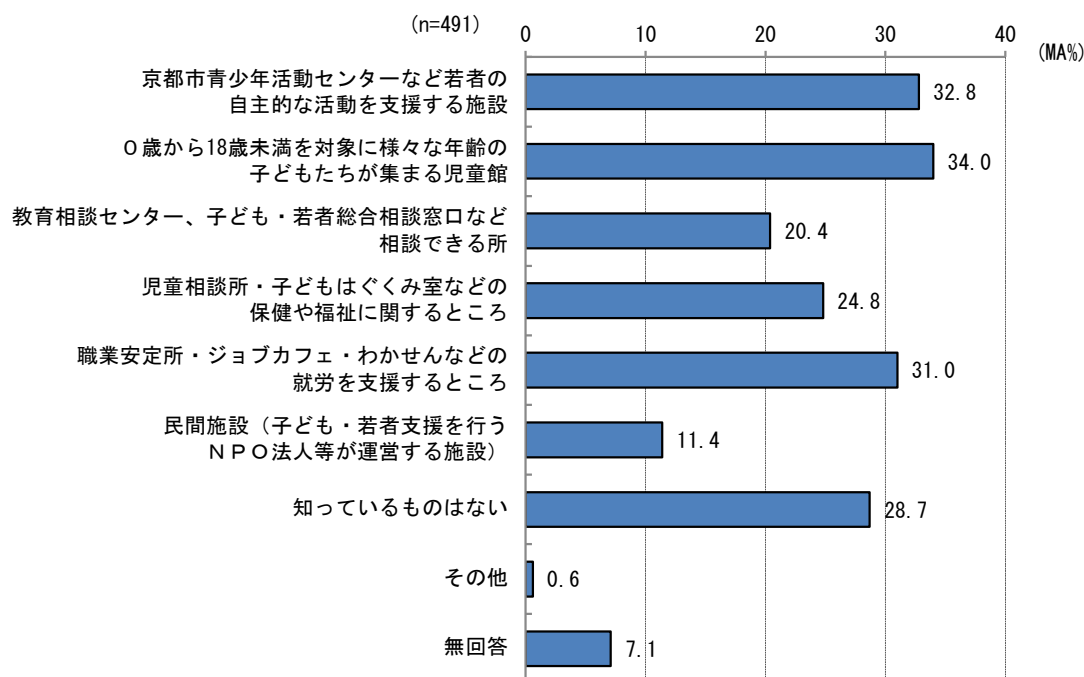
育児体験の意向は、「したい」が30.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばしたい」が20.7%、「あまりしたくない」が13.2%、「したくない」が11.7%となっています。(図8-2)

9 青少年・若者を対象とした施設について

1. 子ども・若者を対象とした支援施設等で知っているもの

問23 あなたは、以下の子ども・若者を対象に支援する施設等を知っていますか。(複数回答可)

【図9-1 子ども・若者を対象とした支援施設等で知っているもの】



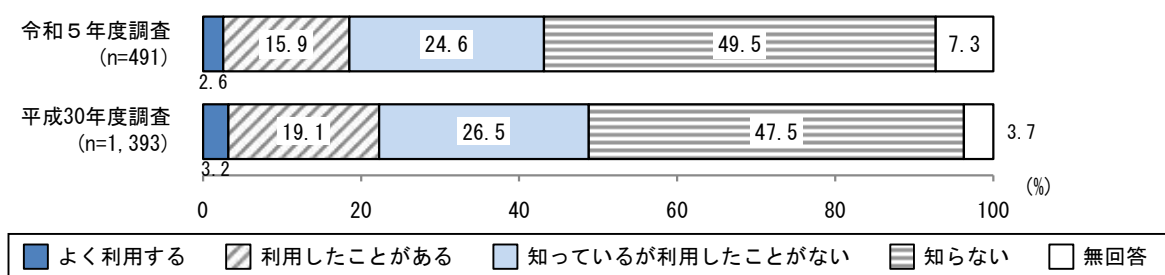
子ども・若者を対象とした支援施設等で知っているものは、「0歳から18歳未満を対象に様々な年齢の子どもたちが集まる児童館」が34.0%と最も多くなっています。(図9-1)

2. 京都市青少年活動センターの利用有無

問24(1) 京都市青少年活動センターを利用したことがありますか。(○は1つ)

※「京都市青少年活動センター」とは、若者の自主的な活動の支援、居場所づくり、育成、相談などを行う施設で、市内7か所（中央、北、東山、山科、下京、南、伏見）にあります。

【図9-2 京都市青少年活動センターの利用有無】



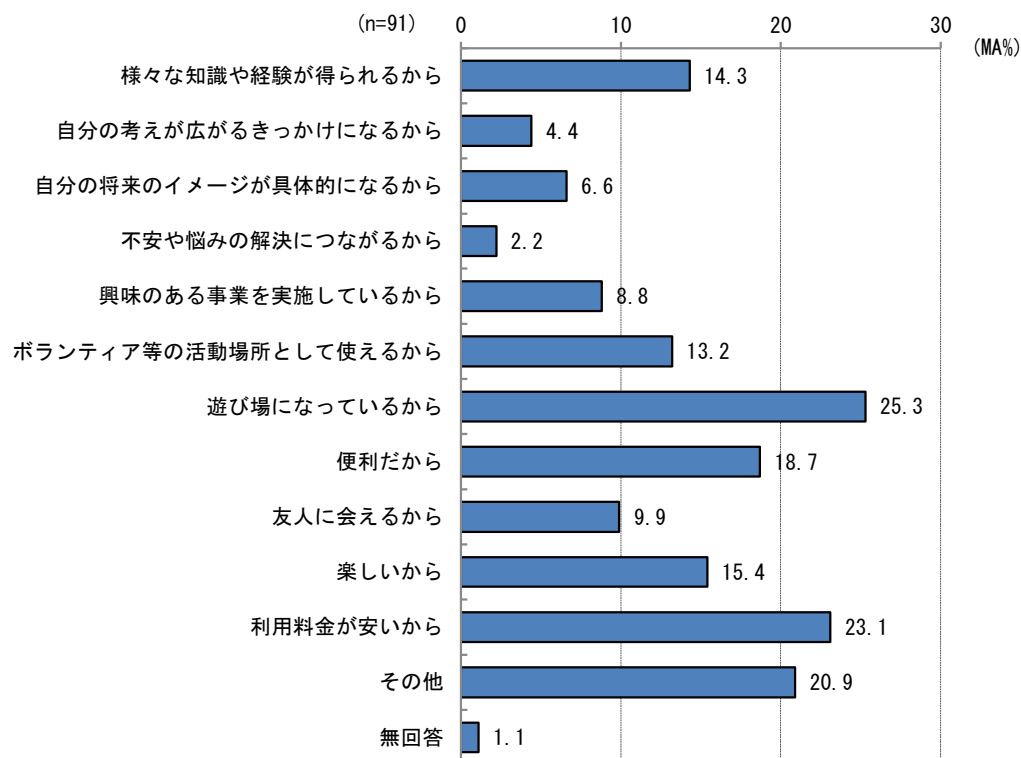
京都市青少年活動センターの利用有無は、「知らない」が49.5%と最も多く、次いで「知っているが利用したことがない」が24.6%、「利用したことがある」が15.9%、「よく利用する」が2.6%となっています。(図9-2)

3. 京都市青少年活動センターを利用している理由

≪問24(1)で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。

問24(2) 利用している理由は何ですか。(複数回答可)

【図9-3 京都市青少年活動センターを利用している理由】

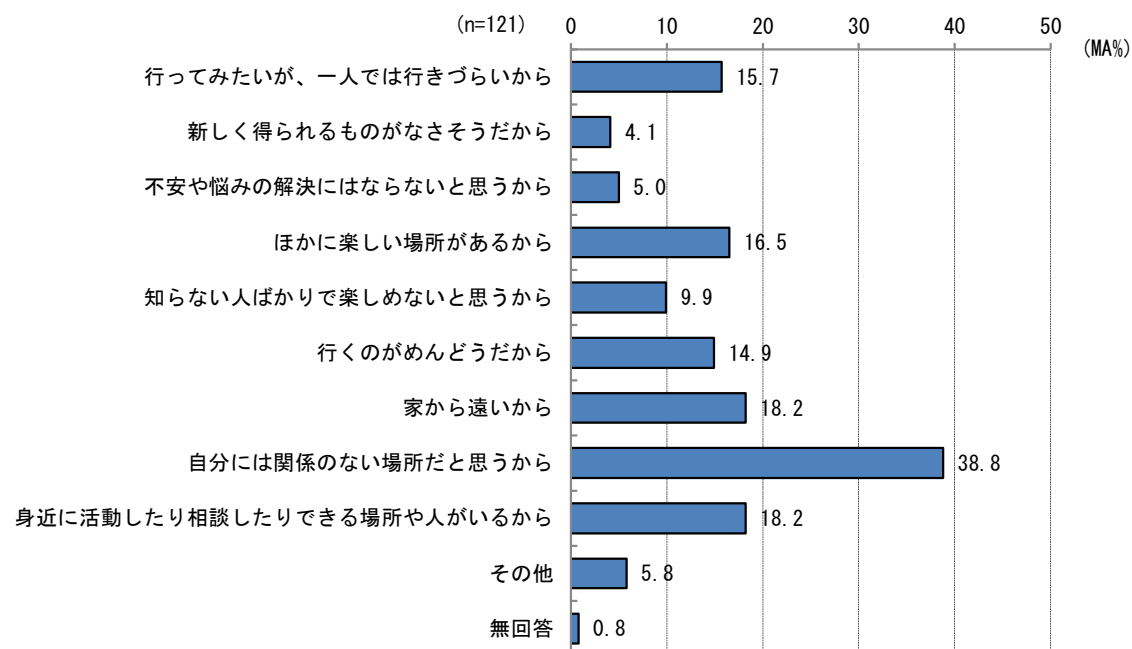


京都市青少年活動センターを利用している理由は、「遊び場になっているから」が25.3%と最も多く、次いで「利用料金が安いから」が23.1%、「便利だから」が18.7%、「楽しいから」が15.4%、「様々な知識や経験が得られるから」が14.3%となっています。(図9-3)

4. 京都市青少年活動センターを利用したことがない理由

≪問24(1)で「3. 知っているが利用したことがない」と答えた方にうかがいます。
問24(3) 利用しない理由は何ですか。(複数回答可)

【図9-4 京都市青少年活動センターを利用したことがない理由】



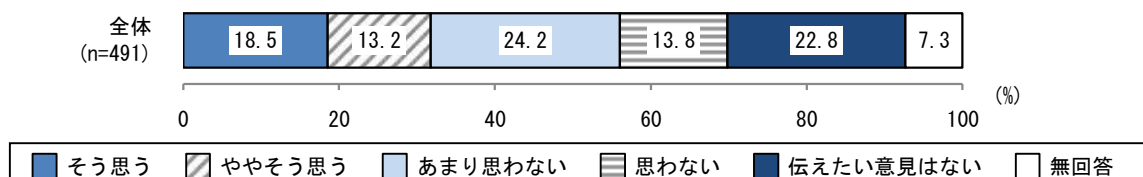
京都市青少年活動センターを知っているのに利用したことがない理由は、「自分には関係のない場所だと思うから」が38.8%と最も多く、次いで「家から遠いから」と「身近に活動したり相談したりできる場所や人がいるから」がそれぞれ18.2%となっています。(図9-4)

10 子どもや若者の意見反映について

1. 京都市に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思うか

問25(1) 国や京都市では、まちづくり等を行うに当たって、子どもや若者の意見の反映に取り組んでいます。
京都市に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思ったことはありますか。(〇は1つ)

【図10-1 京都市に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思うか】



京都市に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思うかは、「あまり思わない」が24.2%と最も多く、次いで「伝えたい意見はない」が22.8%、「そう思う」が18.5%、「思わない」が13.8%、「ややそう思う」が13.2%となっています。(図10-1)

2. 京都市に伝えたいこと(自由記述)

《問25(1)で「1. そう思う」「2. ややそう思う」と答えた方にうかがいます。》
問25(2) どんなことを伝えたいですか。(自由記述)

主な意見

1. オーバーツーリズム

- ・観光客で市バスの混雑がひどいので改善してほしい
- ・観光客によって京都に活気が出るのは嬉しい反面、地域住民のバスの利用が困難になる事象が発生する。タクシーの1日乗車券を販売したりして、分散化させてはどうか
- ・観光客が多すぎて生活しづらいのでしやすくして欲しい

2. まちづくりに関すること

- ・車いすに乗っているが、バリアフリーではない所が多すぎる
- ・子育てをしているが、京都中心街の駅にかぎってバリアフリーが進んでいないし、とても不便に感じる
- ・外灯や防犯カメラ設置を増やしてほしい

3. 経済的なこと

- ・財政赤字なので京都市の先行きが不安
- ・税金を無駄遣いせず、社会システムの継続に努めてほしい

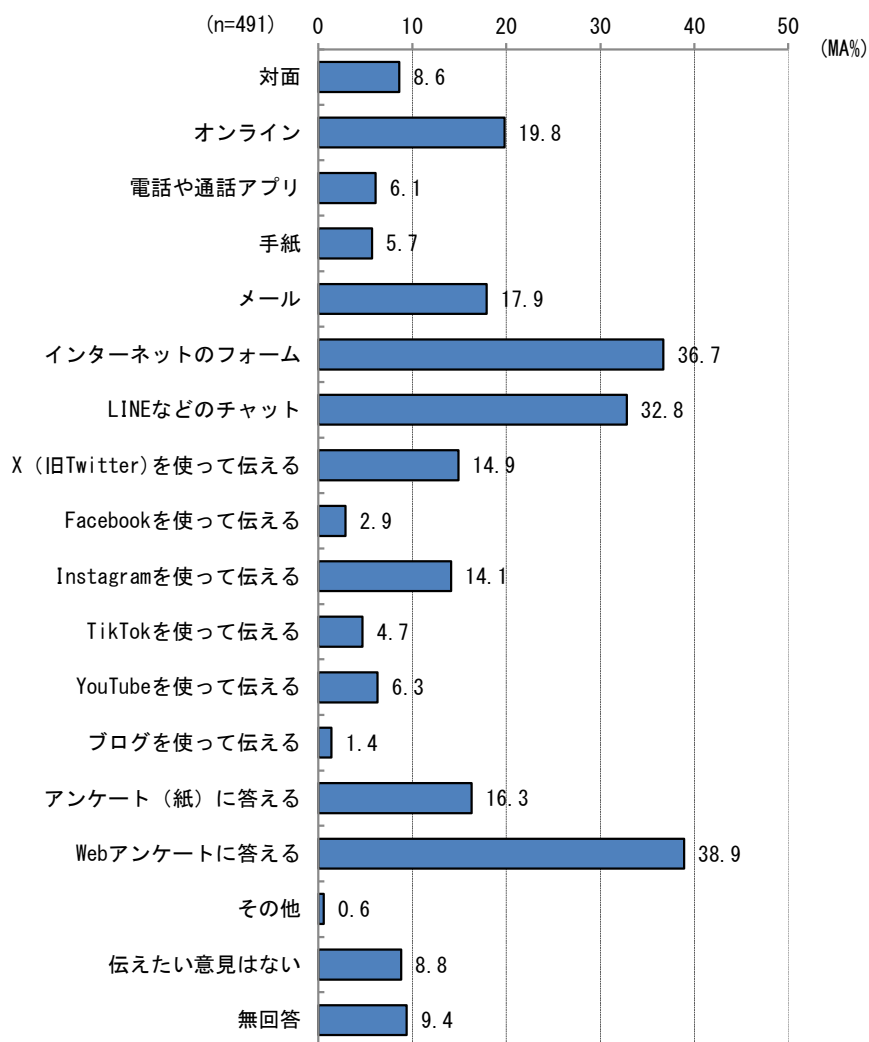
4. その他

- ・観光客にのみ良い政策をするのではなく、伝統を大切にし地域住民も大切にしていきたい
- ・税金が高い。その用途がわからないので信用できない。観光客だけではなく、住民やその他の産業にも使って欲しい
- ・これからのまちづくりの方向性が気になる。今後の京都市は大丈夫なのか

3. 京都市に対して意見を伝えやすい方法や手段

問25(3) どのような方法や手段があれば、京都市に対して意見を伝えやすいですか。(複数回答可)

【図10-3 京都市に対して意見を伝えやすい方法や手段】



京都市に対して意見を伝えやすい方法や手段は、「Web アンケートに答える」が38.9%と最も多く、次いで「インターネットのフォーム」が36.7%、「LINE などのチャット」が32.8%となっています。(図10-3)

4. 京都市にどのような場面で意見を伝えたいか

問26 京都市に意見を伝える場合、どのような場面で伝えたいですか。(自由記述)

主な意見

○インターネットで

- ・オンラインアンケートで回答したい
- ・本アンケートのように、紙で家に届き、スマホで伝えることができれば個人的には簡単である
- ・気づいたとき、その場でコードを読み取って立ち上げられるウェブサイト等、で写真付きで記述するなど
- ・匿名でWebページ等でコメントできるような形であれば、意見を伝えやすい

○SNSで

- ・インスタやLINE等で簡単に伝えられる
- ・公式ラインなど
- ・SNS等匿名で記入できるものであれば

○アンケートで

- ・3か月に1回アンケートを募集するとか、節目で答えられる機会があれば意見しやすいと思う
- ・対面でないほうが伝えやすい(匿名のアンケートなど)
- ・京都市からのアンケートの際に、意見の枠を作ってくれたりすると伝えやすい。LINE(公式など)や、アンケートサイト、メール類など

○学校や職場で

- ・市長が学校に定期的に来て、生徒とふれ合ったり、話をきいてくれるようなことがあれば言うかもしれない
- ・学校の授業や仕事中などの一部の時間
- ・学生の意見を聞いてくれるような場面

○対面で

- ・対面で、一対一のような場面
- ・定期開催のように一定間隔で意見を提出できるような場が設けられる場面
- ・シンポジウムや公民館等での面談

○その他

- ・意見が届いている事、対応されている事が分かる場面で伝えたい
- ・市政、政策についての意見があるとき
- ・政策の方針を決める際など意見が反映されやすいタイミングで

11 自由記述

本アンケートや行政に期待する支援施策に関すること等で、ご意見がございましたらご記入ください。

カテゴリー	主な御意見
行政への要望	・ 学生等若者や子育て支援を強化してほしい。 ・ 市外流出を感じる。 ・ 行政の手続きがわからない、簡単にできるようになってほしい。 ・ 観光客ばかりにお金が使われているように感じる。 ・ 私学高校、大学の無償化等学費支援をしてほしい。 ・ 結婚、子育てができる、したいと思える社会づくりをしてほしい。 など

Ⅲ. 参考資料(調査票)

青少年・若者の意識行動に関する調査

調査へのご協力をお願い

日頃より市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、京都府では、青少年・若者に対する施策を更に推進していくため、市内にお住まいの13歳から30歳までの方の中から、無作為に抽出し、アンケート調査を実施することとなりました。
回答に当たっては、以下の二次元コードを読み取りのうえご入力いただくか、同封の用紙にご記入ください。

この調査は、皆さまの普段の生活の状況や将来に対する考えなどをお聞かせいただき、今後の京都市の青少年・若者に対する取組の充実のために行う、非常に重要なものです。
なお、無記名でお答えいただけますので、どなたのお答えかは分からないようになっていきます。
また、回答された内容はすべて統計的に処理され、目的外に使用することはございません。
大変お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年12月

京都市長 門川大作

回答にあたってのお願い

1. このアンケートは、封筒の宛名のご本人がご回答ください。
2. 設問により、回答数が異なります。
3. 設問により、回答いただく方が限られています。
4. 「その他」をお選びいただいた場合は、() 内に具体的な内容をご回答ください。
5. アンケートの締切日は、「**令和5年12月25日**」となっております。
6. 回答しづらい質問については空欄としてください。
7. 同封の用紙で回答された場合は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストにご投函ください。
8. アンケート結果は、令和6年4月以降に、京都市ホームページにて公表する予定です。

◎本調査は、WEB回答でも受け付けております。スマホ・パソコン・タブレットで下記二次元コードより入力いただき、ID・パスワードを入力の上、回答をお願いします。

◆WEB専用回答ページ <https://en.surece.co.jp/2023kyota5/>



ID

パスワード

※ID・パスワードは、調査専用画面に入るための認証キーです。回答者を特定するためのものではありません。

【問合せ先・返送先】 株式会社サカイサーチセンター大説事務所
フリーダイヤル：0120-186-189
受付時間：月～金曜日（土曜・日曜・祝日除く） 午前9時～午後5時

あなた自身のことについて

問1
あなたの性別をお答えください。(Oは1つ)

1. 男性

2. 女性

3. その他

問2
あなたの年齢をお答えください。

() 歳 ※ 令和5年10月1日現在の年齢

問3
お住まいの区はどこですか。

() 区

問4
あなたはだれと一緒に暮らしていますか。(複数回答可)

1. 一人暮らし
2. 父親
3. 母親

4. 兄弟姉妹
5. 夫・妻
6. 自分の子ども

7. 祖父母
8. 祖心さ
9. 友人

10. 恋人
11. その他 (具体的に:)

問5(1)
どの学校に通っていますか。(Oは1つ)

1. 中学校

2. 高校

3. 短大・高等専門学校

4. 大学

5. 大学院

6. 専門学校・各種学校

7. 予備校

8. その他 (具体的に:)

問5(2)
アルバイトやパートをしていますか。(Oは1つ)

1. している

2. していない

問6
職業等について教えてください。(Oは1つ)

1. 正社員・正職員
2. 契約・パート・アルバイト

3. 派遣社員
4. 自営業主

5. 家族従業員
6. 内職・在宅就業

7. 就労・家事専業
8. その他 (具体的に:)

悩みごとについて

問7(1)
悩みごとや心配ごとはありますか。(Oは1つ)

1. ある

⇒問7(2)へ

2. ない

⇒問8へ

問7(2)
あなたはどのような悩みや心配ごとはありますか。(複数回答可)

1. 勉強のこと
2. 学校生活のこと
3. 仕事や職場のこと

4. 将来 (結婚を含む) のこと
5. 家族のこと
6. 友人のこと

7. 好きな人のこと
8. 健康のこと
9. 性格のこと

10. 見た目や性格のこと
11. お金のこと
12. 無気力、やる気が出ないこと

13. その他 (具体的に:)

問7(3)
あなたは誰かに相談したことはありますか。(Oは1つ)

1. ある

⇒問7(4) (6)へ

2. ない

⇒問7(5) (6)へ

問7(4)
あなたは悩みや心配ごとはだれに相談していますか。(複数回答可)

1. 家族
2. 友人・恋人

3. 学校の先生、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー
4. 習い事の先生

5. 部活やサークルなどの先輩や顧問
6. 職場の上司、先輩、同僚

7. 医師やカウンセラーなどの専門家
8. インターネット (SNS) 上の仲間

9. その他 (具体的に:)

問7(5)
相談したことがないのはなぜですか。(複数回答可)

1. 相談できる人がいないから

2. 相談するほどでもないと思うから

3. だれに相談すれば、ものかわからないから

4. 相談しても解決できないと思うから

5. 相手がどんな人かわからないから

6. 相手にうまく伝えられないから

7. 自分ひとりで解決すべきだと思うから

8. 誰にもおそれたくないことだから

9. 愚痴られたり、叱責するのが嫌だから

10. 嫌なことやでできないことを言われそうだから

11. 自分の欠点や失敗を無く言われそうだから

12. 何を言われるかわからないから

13. 自分が要る人に思われるのではないかと不安だから

14. お金がからむと思うから

15. その他 (具体的に:)

2

- 50 -

問7(6) どのような人や場所なら相談したいと思いますか。(複数回答可)

1. 無言で相談できる	2. 匿名 (11分が頼みあられず) で相談できる
3. 相手が高世代である	4. 推し・配信者が属する世代である
5. 相手が高世代の趣味を共有している人である	6. SNSやメールで相談できる
7. 相手がカウセンラーなど専門家である	8. 相手が同好である
9. 相手が公的な支援機関である	10. 相手が医師である
11. 相談できる場所が自宅から近い	12. 電話で相談できる
13. 相手が同好の支援団体 (NPO等) である	14. 相手が自宅に来てくれる
15. 誰にも相談したくない	
16. その他 (具体的に)	

居場所について

問8(1) 次の場所は、今のあなたは、今あなたがとって居場所 (ほっとできる場所、居心地の良い場所など) になっていますか。(それぞれについて1つ)

	な ら 思 う	な ら 思 わ ない	な ら 思 わ ない	な ら 思 わ ない	な ら 思 わ ない
【アベキのそれぞれについて、あてはまる番号に○を1つ】					
ア) 自分の部屋	1	2	3	4	5
イ) 家庭 (家族や親族の家族など)	1	2	3	4	5
ウ) 学校 (卒業した学校を含む)	1	2	3	4	5
エ) 職場 (過去の職場を含む)	1	2	3	4	5
オ) 地域 (現在生きている地域の近く又は通勤・通学先や途中にある公園や青少年活動センター・児童館などの施設)	1	2	3	4	5
カ) インターネット空間 (SNS、YouTube やオンラインゲームなど)	1	2	3	4	5
キ) その他 ()	1	2	3	4	5

問8(2) 家庭、学校、職場以外にどのような居場所であれば行ってみたいと思いますか。(複数回答可)

1. いっしょに行きたい決まっている
2. 一人で思ったり、何もせずのんびりできる
3. ありのままでもいいから、自分を認めてほしい
4. 好きなことをして自由に過ごせる
5. 自分の意見や希望を言われてもらえる
6. 新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる
7. 悩みの相談にのってもらったり、一緒に考えてくれる人がある
8. いろんな人と出逢える、友人と一緒に過ごせる
9. その他 (具体的に)
10. 特にない

スマートフォンなどの利用について

問9 あなたは平日にどのくらいの時間、スマートフォンやパソコン、タブレット端末等 (以下「スマートフォン等」という) を利用しますか。(○は1つ)
※休日は除きます。仕事や学習のための利用は除きます。

1. 使わない・使っていない	2. 30分未満	3. 30分以上1時間未満
4. 1時間以上2時間未満	5. 2時間以上3時間未満	6. 3時間以上4時間未満
7. 4時間以上	8. わからない	

問10 スマートフォン等の主な利用目的は何ですか。(複数回答可)

1. 通話	2. 電子メールによる連絡	3. ゲームページ等を見る
4. SNS (LINE, Instagram, TikTok, X (旧 Twitter) 等)	5. ゲーム	
6. YouTube 等の動画サイト	7. 動画や写真等を閲覧するもの	
8. その他 (具体的に)		

問11 スマートフォン等を利用して、嫌な思いをしたり、トラブルに巻き込まれたことはありますか。ある場合は以下の選択肢からあてはまるものを選んでください。(複数回答可)

1. 自分の悪いことをネット上に書き込まれた
2. 仲間はずれやいじめを受けた
3. 自分の個人情報 (住所や住所、電話番号等) や写真をネット上に勝手にアップされた
4. 身に覚えのないお金が請求されたり、ゲームで金銭を使いすぎて多額の借金や請求された
5. ネット上で知り合った人から、しつこく会うように誘われた
6. ネット上で知り合った人と実際に会い、事件やトラブルに巻き込まれた
7. ネット上に書き込んだ内容がうまく相手に伝わらず、怒らされたり悲しませられた
8. なりすましやアカウントの盗用・取り換わりにあった
9. 有害なホームページにつなげられたり、怪しいメールが来た
10. 知らない人から親の写真を送られてきたり、自分の嫌な写真を送るようになされた
11. その他 (具体的に)

情報収集について

問12 あなたは新しい情報をどのように入手していますか。(複数回答可)

1. インターネット検索	2. SNS (LINE, Instagram, TikTok, X (旧 Twitter) 等)
3. ランベ・ラジオ	4. 本
5. 雑誌・漫画	6. フリーペーパー
7. 新聞	8. 家族や友人との会話
9. 特にない	10. その他 (具体的に)

健康について

問13 あなたのふだんの起床時間と就寝時間を、平日・休日のそれぞれ記入してください。
※24時間記入してください。

①平日

起床時間

時

分

就寝時間

時

分

②休日

起床時間

時

分

就寝時間

時

分

問14 あなたは自分の健康についてどのように思いますか。(○はそれぞれ1ずつ)

	とても健康	健康	やや不健康	不健康	わからない
① からだ	1	2	3	4	5
② こころ	1	2	3	4	5

問15 あなたはたばこを吸いますか。(○は1つ)

1. 吸っている

2. 吸ったことはあるが、やめた

3. 20歳になったり吸ってみたい

4. 吸ったことがない、吸ってみたいとも思わない

問16 あなたはお酒を飲めますか。(○は1つ)

1. 飲む

2. 飲んだことはあるが、やめた

3. 20歳になったり飲んでもいい

4. 飲まない、飲もうとは思わない。(飲めない)

問17 あなたは性感染症について知っていることはありますか。(複数回答可)

1. 淋病は性交(性的接触)で感染する

2. グラミアジアは性交(性的接触)で感染する

3. 梅毒は性交(性的接触)で感染する

4. HIV(ヒト免疫不全ウイルス)は性交(性的接触)で感染する

5. 性感染症は皮膚を傷つけても再び感染することがある

6. 性感染症にはほとんど痛みや痒みなどがなく、気づきにくいものもある

7. コンドームの正しい使用により感染のリスクを減らすことができる

8. ゾルの使用では性感染症を予防することができない

9. 京都市の性感染症(HIVや梅毒含む)検査は無料であるが、事前に予約を受けることができる

10. 京都市の性感染症(HIVや梅毒含む)検査は血液検査と尿検査である

11. 子宮がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)は性交(性的接触)で感染する

問18 性感染症や避妊方法について、何から情報を得ていますか。(複数回答可)

1. 父親

2. 母親

3. 兄弟姉妹

4. 学校の先生

5. 学校の友人

6. 学校以外の友人

7. 専門家による講演・講演

8. 雑誌

9. テレビ

10. インターネット・SNS等

11. その他(具体的に)

5

問19 あなたは性交(性的接触)についてどのように考えていますか。(複数回答可)

1. お互いの好きであれば性交(性的接触)するかもしれない

2. 結婚するまでは性交(性的接触)しない

3. その時にならないとおかしい

4. みんながしているので遅れたくない

5. したくない、興味がない

6. 何とも考えていない

7. その他(具体的に)

地域活動への参加について

問20(1) 地域活動への参加状況について教えてください。(複数回答可)

この3年間で、学校や仕事以外で、1～13の活動に参加したことがありますか。
また、今後参加してみたい活動は何ですか。

	参加したことがある	今後参加してみたい
1. 地域のお祭りや伝統行事に自ら参加する活動	1	1
2. 地域のレクリエーション(スポーツ活動や文化活動)	2	2
3. 地域の清掃・緑化活動など、地域環境やリサイクルに関する活動	3	3
4. 地域の選挙活動や防災活動	4	4
5. 子どもたちの指導や世話	5	5
6. お年寄りのための活動	6	6
7. 障害のある人のための活動	7	7
8. 募金活動や献金	8	8
9. 商店街の活性化など、まちづくりや地域活性化のための活動	9	9
10. 外国人との交流や国際交流のための活動	10	10
11. 地域等での音楽・演劇・ダンスなどの表現活動	11	11
12. 自然体験(山登り、海泳、川遊び、キャンプ等)	12	12
13. その他(具体的に)	13	13
14. 他にない	→問20(4)へ	

《問20(1)で「1」から「13」のいずれか1つでも「参加したことがある」と答えた方にうかがいます。》

問20(2) その活動に参加して良かったと思うことは何ですか。(複数回答可)

1. 新しい仲間ができた

2. 年輩の若年層の人と交流できた

3. 活動の楽しさがわかった

4. 活動を通じて地域に貢献できた

5. 地域の良さに気づくことができた

6. 地域の人に感謝された・役に立てた

7. 目的の達成や知識・できることを生かした

8. その他(具体的に)

9. 特にない

6

- 52 -

問 20(3) 参加した活動についての情報をどこで知りましたが。(複数回答可)

1. インターネット検索
2. SNS (LINE, Instagram, TikTok, X (旧Twitter)等)
3. テレビ・ラジオ
4. 本
5. 雑誌・漫画
6. フリー・ペーパー
7. 新聞
8. 家族や友人との会話
9. 特になし
10. その他 (具体的に：)

※回答欄、問 20(5)へ※

※問 20(1)で「14. 特になし」と答えた方にかがいます。※

問 20(4) 参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

1. どのような活動があるかわからない
2. 忙しくて時間が足りない
3. 一緒に参加する友人がいない
4. 費用がかかる
5. 身近なところで参加できる活動がない
6. 自分の興味に合う活動がない
7. 活動できる日時に合うものがない
8. 人間関係が心折・めんどう
9. 申込みや参加のやりがかわからない
10. 参加するきっかけがない
11. ちとと興味・関心がない
12. その他 (具体的に：)

問 20(5) どのような要素があれば参加しやすいと思いますか。(複数回答可)

1. 参加のための条件が緩やかでやすい
2. 活動のことで役割がある
3. 企画に関われる
4. 個人で参加できる
5. グループで参加できる
6. 無料に参加できる
7. 交通費や料札等の支払いがある
8. 特になし
9. その他 (具体的に：)

小さな子どもとふれあう機会について

問 21 あなたは小さな子どもとふれあう機会がありますか。(複数回答可)

1. 兄弟姉妹に小さな子どもがいるのでよく世話をする
2. 学校の授業や児童館、保育園等で小さな子どもと遊んだりする
3. 近所の小さな子どもと遊んだりする
4. 親せきの小さな子どもと遊んだりする
5. 町内会や地域の活動で小さな子どもと遊んだりする
6. ふれあう機会はない
7. 子育てを行っている
8. その他 (具体的に：)

※子育てをした経験がない方にかがいます。※

問 22 あなたは育児体験 (抱っこする、おむつ替える、一緒に遊ぶなど) をしたいと思いますか。(Oは1つ)

1. したい
2. どちらかといえばしたい
3. あまりしたくない
4. したくない
5. わからない

青少年・若者を対象とした施設について

問 23 あなたは、以下の子ども・若者を対象に支援する施設等を知っていますか。(複数回答可)

1. 京都市青少年活動センターなどの若者の自主的な活動を支援する施設
2. 18歳から18歳未満を対象にいろいろな年齢の子どもたちが集まる児童館
3. 統合支援センター、子ども・若者総合相談室などの相談を受け付けているところ
4. 児童相談所、子どもはぐみやかなどの保母や福祉に關するところ
5. 職業支援所 (ハローワーク)・ジョブカフェ・わかせん (京都市わかもの職業支援センター)・地域若者サポートステーションなどの就労を支援するところ
6. 民間施設 (自然環境教育や学習支援など子ども・若者への支援を行うNPO法人等が運営している施設)
7. 知っているものはない
8. その他 (具体的に：)

問 24(1) 京都市青少年活動センターを利用したことがありますか。(Oは1つ)

※「京都市青少年活動センター」とは、若者の自主的な活動の支援、居場所づくり、習成、体験などを行う施設で、市内7区(中央、北、東山、山科、下京、西、伏見)にあります。

1. よく利用する
2. 利用したことがある
3. 知っているが利用したことがない
4. 知らない

※問 24(1)で「1」または「2」と答えた方にかがいます。※

問 24(2) 利用している理由は何ですか。(複数回答可)

1. 様々な知識や経験が得られるから
2. 自分の考えが伝わるきっかけになるから
3. 自分の将来のイメージが具体的にになるから
4. 不安や悩みを解決につながるから
5. 興味のある事業を実施しているから
6. ボランティア等の経験を通して能えるから
7. 遊び場になっているから
8. 便利だから
9. 友人に会えるから
10. 楽しいから
11. 利用料金が安いから
12. その他 (具体的に：)

※問 24(1)で「3. 知っているが利用したことがない」と答えた方にかがいます。※

問 24(3) 利用しない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 行ってみたいが、一人では行きづらいから
2. 新しく思われるものがないから
3. 不安や悩みを解決するにはならないと思うから
4. ほかの楽しい場所があるから
5. 知らない人ばかりで楽しめないと思うから
6. 行くのがめんどうだから
7. 家から遠いから
8. 自分には関係のない場所だと思うから
9. すでに訪問したり相談したりできる場所や人がいるから
10. その他 (具体的に：)

子どもや若者の意見反映について

問 25(1) 国や京都市では、まちづくり等を行うに当たって、子どもや若者の意見の反映に取り組んでいます。

京都市に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思ったことはありますか。(○は1つ)

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. 思わない 5. 伝えたい意識はない

※問 25(1)で「1. そう思う」「2. ややそう思う」と答えた方にうかがいます。※

問 25(2) どんなことを伝えたいですか。(自由記述)

問 25(3) どのような方法や手段があれば、京都市に対して意見を伝えやすいですか。(複数回答可)

1. 新聞 2. オンライン 3. 電話や通話アプリ
4. 紙 5. メール 6. インターネットのアプリ
7. LINEなどのチャット 8. Twitterを使って伝える 9. Facebookを使って伝える
10. Instagramを使って伝える 11. TikTokを使って伝える 12. YouTubeを使って伝える
13. ブログを使って伝える 14. アンケート(紙)に答える 15. Webアンケートに答える
16. その他(具体的に：
17. 伝えたい意見はない)

問 26 京都市に意見を伝える場合、どのような場面で伝えたいですか。(自由記述)

〈自由記述〉その他、本アンケートや行政に期待する支援施策に関すること等で、ご意見がございましたらご記入ください。

アンケートはこれで終わります。ご協力ありがとうございました！